

平成30年度

かごしま県民大学中央センター事業報告書15

かごしまの生涯学習



写真／平成30年度 主催事業の様子

県下全域を生涯学習のキャンパスに



鹿児島県教育庁 かごしま県民大学中央センター

はじめに

平成30年度は、平成26年2月に策定された「第2期鹿児島県教育振興基本計画」の最終年度となりました。この5年間、かごしま県民大学中央センターは「生涯学習社会へ向けた環境づくり」を実現するため、生涯学習に関する調査研究、学習機会や学習情報の提供、指導者養成等に取り組んで参りました。本センターが主催する現代的課題等に対応した講座の開催につきましては、平成30年度までに30市町村以上で実施する目標を掲げておりましたが、予定より1年早く達成することができ、関係の皆様には深く感謝申し上げます。

今年度は、メディア研修講座ではタブレット端末を導入するなどして、時代に対応した講座を開設しました。また、学習成果を発表する場として実施している「生涯学習ふれあい展示」を2階展示ロビーから6階ギャラリーへ変更し、学び直しの機会提供の観点から放送大学の紹介を行いました。人材育成講座修了者等を対象とした「ふるさとリーダー交流会」は4回目となり、地域リーダーのネットワークも徐々に広がりつつあることを実感しています。さらに、明治維新150周年関連事業として、社会教育課と協働で実施している「かごしま青年塾」では、昨年度の1期生がサポートスタッフとして運営に参加し、鹿児島の次世代のリーダーとして活躍しました。

本県においても、本格的な人口減少社会の到来、少子高齢化の進行、経済のグローバル化やIoT、AI等の技術革新が急速に進展しており、地域社会における課題も多様化、複雑化しています。人生100年時代や現在の情報社会の次の社会の姿として超スマート社会とも言われるSociety5.0の到来に向けて、これらの社会情勢の変化に対応するには、誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現に向けた取組が必要であり、世代を問わず地域課題解決を総合的に進めるには、多世代交流や地域のつながりづくりをコーディネートできる人づくりが更に重要となります。

本県では、平成31年2月に、平成31年度から5年間を計画期間とした「第3期鹿児島県教育振興基本計画」を策定しました。新たな計画では、生涯にわたる学び直しができる環境づくり、学習成果を幅広く生かすことができる体制づくり、地域づくりの中核を担う人材の育成、障害者の生涯を通じた多様な学習活動の充実、支援等も施策の方向性に掲げています。本センターも新たな計画に基づき、県民の皆様が生涯を通じて学び活躍できる環境づくりの実現を目指して、これまで以上に市町村・大学等と課題を共有し、連携を深め、本県生涯学習の中核施設としての役割を果たして参りたいと考えます。

本報告書は、本センターの平成30年度事業の概要及び主催講座受講者の活動状況等をまとめたものです。県内各所での生涯学習の事業推進に御活用いただけましたら幸いです。

最後に、本報告書の作成に当たり、多大な御尽力、御協力を賜りました関係者並びに各関係機関の皆様には深く感謝申し上げますとともに、今後とも本センターの各種事業に、御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年3月

かごしま県民大学中央センター
所長 大山涼子

I 事業体系

学習機会の提供 及び指導者養成	学習情報の提供	調査・研究
<p>ふるさとおこしリーダー育成講座 (ふるさと活性化人材育成事業)</p>	<p>ふるさとリーダー交流会</p>	<p>生涯学習に関する調査研究</p>
<p>生涯学習県民大学講座</p>	<p>ふれあい展示 (学習成果発表の場の提供) ○生涯学習団体、学校・教育施設等の作品展示</p>	
<p>かごしま県民大学連携講座</p>	<p>各種情報の提供 (生涯学習に関する各種情報) ○講座・研修情報 ○指導者・講師情報 ○イベント・お知らせ情報 ○生涯学習に関する資料の配架・掲示</p>	
<p>メディア研修講座</p>	<p>視聴覚ライブラリー</p>	
	<p>生涯学習に関する相談窓口</p>	
<p>来所研修(自主グループ・講座受講者等の支援)</p>	<p>「学びの手帳」推進事業 (学ぶ環境の整備)</p>	
	<p>県視聴覚教育連盟との連携 (県自作視聴覚教材コンクール)</p>	
<p>かごしま青年塾 (明治維新150周年関連事業)</p>		<p>「かごしま県民大学推進協議会」の運営</p>

(参考) 平成29・30年度主催講座の講座数及び受講者数

事業	平成29年度		平成30年度	
	講座数	受講者数	講座数	受講者数
人材育成講座	5 講座	129 人	5 講座	80 人
生涯学習県民大学講座	26 講座	1,053 人	26 講座	1,545 人
かごしま県民大学連携講座 (A)	39 講座	9,387 人	31 講座	4,942 人
メディア研修講座 (B)	18 講座	540 人	20 講座	561 人
(A), (B)を兼ねて実施した講座	(3)講座	(155)人	(2)講座	(318)人
合計	85 講座	10,954 人	80 講座	6,810 人

Ⅱ 学習機会の提供

1 ふるさと活性化人材育成事業 「ふるさとおこしリーダー育成講座」

(1) 趣 旨

ふるさとにある「人」「もの」「自然」を活用したふるさとおこしを通し、ふるさとのよさを次世代に継承し、発信していく生涯学習リーダーを育成する。

(2) 主 催

かごしま県民大学中央センター

(3) 内 容

ア 目的

【基礎講座】

「ふるさとのよさ」を、自ら見つけ、学び、発信し、次世代に伝えることができる実践力を身に付けた、市町村等の地域における生涯学習リーダーとしての人材を育成する。

【ステップアップ講座】

当講座受講後の地域リーダーとしての活動の成果を自ら検証し、効果的な活動を発展的に深めるとともに、地域リーダー同士の交流を広げるなど、より一層自らの力で学習活動を推進する人材を育成する。

イ 講座の概要

	基礎講座	ステップアップ講座
内 容	生涯学習リーダーとしての基礎的な知識や技術等を習得するため、大学講師等による講話やプレゼンテーション等を行う。	これまでの活動内容を振り返る機会とし、活動事例発表やフォーラム等を行い、人との交流や絆を深め、活動の更なる発展に繋げる。
講座数	3講座(各3回)	2講座(全1回)
会場数	3会場(交流センター、始良・伊佐地区、熊毛地区)	2会場(県民交流センター、大島地区)
対 象	ふるさとおこしに興味・関心のある県民	・過年度基礎講座受講者 ・ふるさとおこしに興味・関心のある方 等
定 員	各講座15人程度	60人(各30人)
受講料	無料	無料
講 師	5人(大学教員1, 民間3, 中央センター職員2)	1人(大学教員1), 民間1

ウ 受講者数

【基礎講座】

会 場	受講者数	各回受講者数			修了者数
		1回	2回	3回	
交流センター	9人	9人	8人	7人	8人
始良・伊佐地区	14人	14人	12人	3人	10人
熊毛地区	6人	5人	5人	4人	5人
合 計	29人	28人	25人	14人	23人



【講師による講話】



【プレゼンテーション】

【ステップアップ講座】

〈かごしま県民交流センター会場〉

受講者数	25人
------	-----

〈大島地区会場〉

発表者数	2人
受講者数 (発表者をむ)	26人



【実践事例発表】



【現地研修】

エ 講座の実際

[基礎講座]

(7) 会場・期日・場所

交流センター会場 (鹿児島市)	7月14日(土)・15日(日)・28日(日)	かごしま県民交流センター
熊毛地区会場 (西之表市)	9月8日(土)・9日(日)・15日(土)	西之表市民会館
始良・伊佐地区会場 (始良市)	10月13日(土)・14日(日)・20日(土)	始良市始良公民館

(イ) 講座内容

	プログラム	内容等	講師等(敬称略)
1 日 目	○ 開講式 オリエンテーション1	<input type="checkbox"/> 中央センター所長挨拶 <input type="checkbox"/> 日程等についての説明	
	○ 自己紹介	<input type="checkbox"/> 自己紹介 ・自己紹介, 受講理由等の発表	
	1 講座1	<input type="checkbox"/> 生涯学習に関する講話 「地域の物語を紡ぐふるさとおこしリーダーとは」	金子 満 (鹿児島大学法文学部准教授)
	2 講座2	<input type="checkbox"/> 実践事例発表 ・過去受講者等による現在の活動状況の発表 「活動の動機及び今後の課題について」	・大野 雅子 (県民交流センター会場) ・須部 貴之 (県民交流センター会場) ・鎌田 秀一郎 (熊毛地区会場) ・古里 秀人 (始良・伊佐地区会場) ・黒江 学 (始良・伊佐地区会場)
	まとめと指導	<input type="checkbox"/> まとめと指導	金子 満
	3 講座3	<input type="checkbox"/> 講話 「人前で自信をもって話すコツ」	池上 美弥子 (元NHK・KKBアナウンサー)
	3 講座3 (熊毛地区会場)	<input type="checkbox"/> 充実した話し合いのための講話 「充実した話し合いや会議」	加峯 美由紀 (かごしま県民大学中央センター社会教育主事兼専門員)
2 日 目	○ オリエンテーション2	<input type="checkbox"/> 日程等についての説明	
	4 講座4	<input type="checkbox"/> 講話 「『人』『もの』『自然』の発見の仕方・生かし方」	東川 隆太郎 (NPO法人かごしま探検の会代表理事)
	質疑応答	<input type="checkbox"/> 講話3に対する質疑応答	東川 隆太郎 (NPO法人かごしま探検の会代表理事)
	5 講座5	<input type="checkbox"/> 活動計画案作成 ・活動計画案の作成	
	6 講座6 (熊毛地区会場)	<input type="checkbox"/> 講話 「効果的な広報用チラシ作成のポイント」	松田 貴志 (ヒーローズデザイン代表)
6 講座6 (熊毛地区会場)	<input type="checkbox"/> 講話 「効果的な広報用チラシ作成のポイント」	高見 憲次 (かごしま県民大学中央センター主幹兼学習情報係長)	
3 日 目	○ オリエンテーション3	<input type="checkbox"/> 日程等の説明	
	7 講座7	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション 活動計画案の発表 <input type="checkbox"/> フォーラム 質疑応答・意見交換等	金子 満 (鹿児島大学法文学部准教授)
		<input type="checkbox"/> 講話 ・まとめと実践に向けた助言	金子 満 (鹿児島大学法文学部准教授)
	○ アンケート記入	<input type="checkbox"/> アンケート記入, その他	
	○ 閉講式	<input type="checkbox"/> 修了証書授与 <input type="checkbox"/> 中央センター所長挨拶 <input type="checkbox"/> 諸連絡(活動調査協力等)	

[ステップアップ講座]

(ア) 日時・場所

6月23日(土) 13:00~16:45 奄美文化センター
 11月4日(日) 10:00~15:50 交流センター

(イ) 講座内容

	プログラム	内容等	講師等(敬称略)
大島地区会場	1 開講式・オリエンテーション	<input type="checkbox"/> 中央センター所長挨拶 <input type="checkbox"/> 日程説明等	
	2 自己紹介	<input type="checkbox"/> アイスブレイキング	
	3 シンポジウム ・実践事例発表 ・質疑応答, 意見交換	<input type="checkbox"/> 活動実践内容の発表 ・過去受講者による実践発表 ・実践発表に対する質疑応答, 意見交換	金子 満 (鹿児島大学法文学部准教授) ・藤井 愛一郎 ・西野 キミ子
	4 テーマ別グループトーク	<input type="checkbox"/> テーマ毎のグループトーク ・各班からの報告	
	5 講話	<input type="checkbox"/> 講評 ・今後の活動に向けての指導助言	
	6 閉講式	<input type="checkbox"/> 中央センター所長挨拶	
交流センター会場	1 開講式	<input type="checkbox"/> 中央センター所長挨拶	
	2 オリエンテーション	<input type="checkbox"/> 日程説明等	
	3 自己紹介	<input type="checkbox"/> 自己紹介	
	4 現地研修	<input type="checkbox"/> 先進地視察 ・活動内容説明 ・説明に対する質疑応答, 意見交換 等	吉村 佑太 (合同会社美山商店 代表)
	5 テーマ別グループトーク	<input type="checkbox"/> テーマ毎のグループトーク ・各班からの報告	金子 満 (鹿児島大学法文学部准教授)
	6 講話	<input type="checkbox"/> まとめと今後の活動について	
	7 閉講式	<input type="checkbox"/> 中央センター所長挨拶	
	8 諸連絡	<input type="checkbox"/> 諸連絡 ・今後の活動について等	

(ウ) 事例発表者・発表内容

No.	発表者(敬称略)	発表内容	受講年度
1	藤井 愛一郎氏	地域の活性化のために、定期会に勉強会を開いたり、ポイント会での活動、まちコンイベント(コニコーン)などを実施している。	H26
2	西野 キミ子氏	地域活性化のために、子ども食堂を立ち上げ、子ども食堂を通して地域を盛り上げる活動等を実施している。また、高齢者への支援も月2回実施している。	H28

(4) 地域活性化のための個人テーマ（基礎講座修了時）

（複数作成）

手 段	内 容	人数
各種団体の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域の工芸品や景観を用いて、若者に地域の魅力を発見してもらうための企画を提案する団体づくりを行う。 青年団による地域活性化（自分たちの居場所づくり）として、高校生や大学生との交流を行う。 高齢者団体の活性化のために活動を工夫したり、企画を考えたりする。 地域のよさを感じる「交流」を行うため、「学び」をシェアする既存の会を企画から見直し工夫をする。 青年団の活動を充実し町の活性化を図るために、団員同士のコミュニケーションをもつ機会の工夫をする。 地元と地元を離れた人で行う会の連携を図るためイベントを行い、地元への思いを繋げる。 	6人
交流の充実	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や子育て世代が交代で講師となり調理し、一緒に食べるイベント（2か月に1回）で交流を図る。 他の公民館との交流により地域の活性化を図る。 地域の世代間交流の活性化を図るためのプロジェクトを考える。 地域の若者による地域活性化（自分たちの居場所づくり）として、高校生や大学生と交流を行う。 青少年が地域の魅力を発見・発信するための事業やプログラムを企画し、地元住民と協力して実施する。 世代を越えた交流を図るため、防災訓練と炊き出しを行う。 地域の中学生とコミュニティ協議会主催の「立志式」を行う。 	7人
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力を伝える人材育成講座「青少年おもてなしカレッジ」を実施する。 スポーツを通して地域の輪づくりをするとともに、次世代のリーダー候補を育成する。 	2人
地域素材の活用 （歴史、文化、自然等）	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自然・歴史・文化を生かした体験教室を実施する。 地域の文化・歴史・習慣などを、専門家等に聞くことにより、ふるさとのよさを再発見してもらう講座を開設する。 地域の祭事等を記録するなどの芸術伝承活動を行う。 地域を知るために、地域の歴史調査（年表作成）や地域調査（マップ作成）を行う。 着物を着て、地元の焼酎を楽しんでもらうイベントを実行する。 地元の清掃活動と新鮮朝市で朝ご飯をとってもらいイベントを企画実行する。 地元をPRしてもらうために、かぶり物などを被り、CM撮影をしてユーチューブに流す企画を考え実行する。 音楽を通じた企画を考える。 子供や保護者を対象にした環境美化活動を通して、ふるさとについて考えてもらう機会をつくる。 鹿児島を誇ることができるようなことを考えていく。 	10人
観 光	<ul style="list-style-type: none"> 観光客のおもてなし隊をつくる。 	1人
その他	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者を対象とした「健幸ウォーキングポイント制」をつくり、健康づくりに携わる。 安心安全な居場所づくりを行う。 	2人

2 生涯学習県民大学講座

(1) 趣 旨

多様化・高度化する県民の生涯学習ニーズに応えるため、大学等と連携して、現代的課題等に基づく学習機会の提供を図る。

(2) 主 催

中央センター。ただし、中央センターと連携して事業を推進する市町村教育委員会も主催とすることができる。

(3) 内 容

主に現代的課題や社会的要請に基づく内容とし、各会場2講座とし、会場市町村教育委員会が希望する内容とする。ただし、1講座は「教育・子育て」に関わる内容とする。

(4) 概 要

ア 会場及び講座数

地 区	市町村数	会場数	講座数	開設市町
鹿児島地区	1	1	2	いちき串木野市
南薩地区	1	1	2	指宿市
北薩地区	1	1	2	出水市
始良・伊佐地区	1	1	2	霧島市
大隅地区	2	2	4	鹿屋市，南大隅町
熊毛地区	1	1	2	屋久島町
大島地区	2	2	4	伊仙町，知名町
かごしま県民交流センター			8	

イ 実施時間

(ア) 1講座は、90分程度（質疑応答10分含む。）とする。

(イ) 同日に2講座を行うことを基本とする。

ウ 講 師

各講座内容に応じた専門家

エ 受講者

県民（募集過程で受講対象に制限を設けない。）

オ 定 員

1講座は、30人程度とする（施設の状況に応じて設定）。ただし、2講座を連続して実施する場合であっても受講者の入れ替えは可能とする。

カ 受講料

無料

(5) その他

ア 広報・準備及び運営等は会場市町村教育委員会と中央センターが協働・分担して行う。

イ 受講者募集等の広報の際は、講座会場の市町村教育委員会名及び講座名に、それぞれ以下の事項を併記する。

(ア) 主催として、「かごしま県民大学中央センター」

(イ) 講座名として、「生涯学習県民大学講座」

(6) 講座一覧及び受講者数

地区等	テーマ	講座名	講師(敬称略)		期日	時間	受講者数	男	女
屋久島町	郷土理解	西郷南洲翁の魅力 ～南島で育んだ敬天の心～	西郷南洲顕彰館 館長 徳永 和喜	屋久島離島開発 総合センター	5月13日 (日)	10:00～ 11:40	59	34	25
	教育・子育て (家庭教育)	子どものほめ方・叱り方	鹿児島大学教育学系 准教授 島 義弘			13:30～ 15:10	21	5	16
鹿屋市	教育・子育て (家庭教育)	スクールカウンセリングを通してみえる 子どもの姿と子育てのヒント	鹿児島県スクールカウ ンセラー 児玉 さら	鹿屋市文化会館, リナシティかのや	5月26日 (土)	10:00～ 12:00	595	98	497
	医療・健康	親子で楽しくふれあう, リズムあそび& 運動あそび	鹿児島純心女子短期大学 非常勤講師 吉留 早木子			14:00～ 15:40	29	11	18
出水市	教育・子育て (乳幼児教育)	イヤイヤ期をうまく乗り切るためには	鹿児島大学医学部 准教授 山本 直子	出水市中央公民館	6月10日 (日)	10:20～ 12:00	35	8	27
	教育・子育て (家庭教育)	子どもの「楽しみ」から考える「読み聞 かせ」の意味	鹿児島純心女子短期大学 准教授 森木 朋佳			13:30～ 15:10	22	3	19
伊仙町	教育・子育て (家庭教育)	みんなで考えよう! 子供たちのスマホ・ ネットの安全利用	鹿児島大学大学院 准教授 山本 朋弘	伊仙町 農業支援センター	12月15日 (土)	10:20～ 12:00	23	9	14
	教育・子育て (家庭教育)	子どもの学習意欲の見方・導き方	鹿児島大学教育学系 教授 今林 俊一			13:30～ 15:10	38	19	19
知名町	地域活性	子ども・若者が参加する豊かな地域づく りを考える	鹿児島大学法文学部 准教授 金子 満	知名町中央公民館	12月7日 (金)	13:20～ 15:00	27	21	6
	教育・子育て (家庭教育)	絵本の何が楽しいの? ～0歳から楽しむ絵本の読み聞かせ～	鹿児島純心女子短期大学 准教授 森木 朋佳			12月8日 (金)	13:20～ 15:00	25	4
いちき串木野市	郷土理解	幕末の薩摩藩と西郷隆盛	尚古集成館 学芸員 小平田 史穂	いちき77ホール・ 市来地域公民館	7月7日 (土)	10:20～ 12:00	99	38	61
	教育・子育て (家庭教育)	大人も子どもも考えよう! ネットの安全 で適切な使い方	鹿児島大学 名誉教授 園屋 高志			13:30～ 15:10	55	39	16
南大隅町	教育・子育て (家庭教育)	みんなで考えよう! 子供たちのスマホ・ ネットの安全利用	鹿児島大学大学院 准教授 山本 朋弘	南大隅町 中央公民館	7月21日 (土)	10:20～ 12:00	84	19	65
	郷土理解	幕末の薩摩藩と西郷隆盛	尚古集成館 学芸員 小平田 史穂			13:30～ 15:10	45	14	31
指宿市	教育・子育て (青少年教育)	自然体験活動から子どもが学ぶこと	鹿児島大学共通教育セン ター 准教授 福満 博隆	ふれあいプラザ なのはな館	11月25日 (日)	10:20～ 12:00	42	11	31
	教育・子育て (家庭教育)	本は生きる力 ～祖父・椋鳩十の思い出とともに～	児童文学作家 久保田 里花			14:00～ 15:30	33	5	28
霧島市	教育・子育て (家庭教育)	子どものこころの育ちを支える	志学館大学発達支援セン ター 臨床心理士 森吉 里奈	霧島市立 国分公民館	12月1日 (土)	10:20～ 12:00	44	10	34
	郷土理解	幕末の薩摩藩と西郷隆盛	尚古集成館 学芸員 小平田 史穂			13:30～ 15:10	62	9	53
鹿児島市	教育・子育て (家庭教育)	子どもの心をキャッチする子育てコーチ ング	別府大学 教授 佐藤 敬子	かごしま県民 交流センター	8月4日 (土)	10:20～ 12:00	40	9	31
	医療・健康	知っておきたい認知症の基礎知識	放送大学 教授 井出 訓			13:30～ 15:10	23	9	14
	教育・子育て (家庭教育)	子どもとのかかわり方 -育てることと育てられること-	志学館大学 名誉教授 片平 真理		8月25日 (土)	10:20～ 12:00	19	3	16
	医療・健康	焼酎の魅力と不思議B発見	鹿児島大学農学部 准教授 吉崎 由美子			13:30～ 15:10	24	15	9
	郷土理解	明治日本の産業革命遺産と集成館	尚古集成館 館長 松尾 千歳		10月7日 (日)	10:20～ 12:00	22	12	10
	郷土理解	鹿児島の海は知られざる食材の宝庫	鹿児島大学水産学部 教授 大富 潤			13:30～ 15:10	25	18	7
	教育・子育て (家庭教育)	みんなで考えよう! 子供たちのスマホ・ネットの安全利用	鹿児島大学大学院 准教授 山本 朋弘		2月3日 (日)	10:20～ 12:00	22	15	7
	郷土理解	西郷どんと明治維新150年を再発見	NPO法人かごしま探検 の会 代表理事 東川 隆太郎			13:30～ 15:10	32	22	10
							1545	460	1085

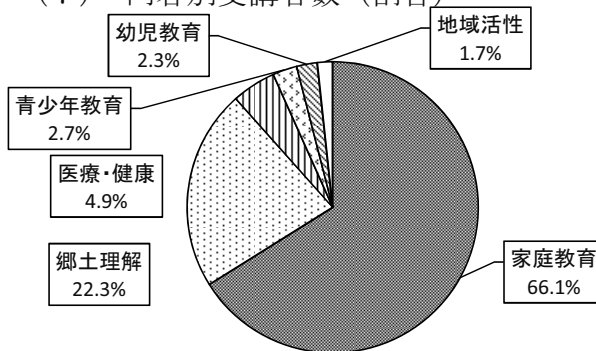
(7) テーマ及び内容別受講者数

テーマ	講座内容の要旨	講座数	受講者数	割合	合計	割合
教育・子育て	幼児教育	1	35	2.3%	1,098	71.1%
	青少年教育	1	42	2.7%		
	家庭教育	13	1,021	66.1%		
	人権教育	—	—	—		
	食生活	—	—	—		
	防災	—	—	—		
医療・健康	生徒指導	—	—	—	76	4.9%
	食生活	—	—	—		
	運動	—	—	—		
	医療・健康	3	76	4.9%		
地域・郷土	介護・看護	—	—	—	371	24.0%
	地域活性	1	27	1.7%		
防災	郷土理解	7	344	22.3%	0	0.0%
	防災・減災	—	—	—		
合計		26	1,545	100.0%	1,545	100.0%

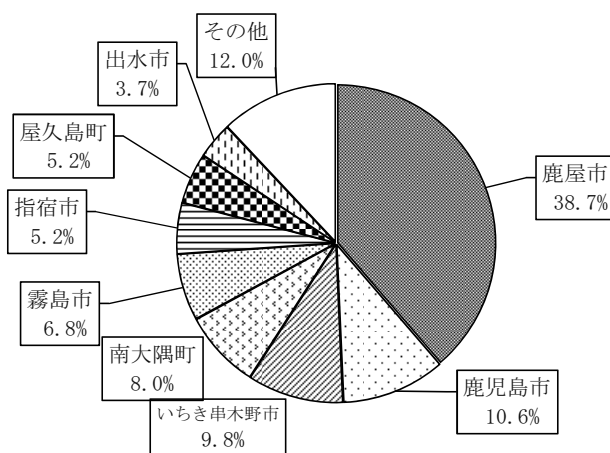
(8) 受講者の居住地

No.	市町村	受講者数	割合
1	鹿屋	598	38.7%
2	鹿児島	164	10.6%
3	いちき串木野	151	9.8%
4	南大隅	124	8.0%
5	霧島	105	6.8%
6	指宿	80	5.2%
7	屋久島	80	5.2%
8	出水	57	3.7%
9	知名	45	2.9%
10	伊仙	32	2.1%
11	徳之島	27	1.7%
12	姶良	20	1.3%
13	肝付	8	0.5%
14	日置	8	0.5%
15	錦江	7	0.5%
16	和泊	7	0.5%
17	志布志	5	0.3%
18	垂水	5	0.3%
19	大崎	3	0.2%
20	阿久根	2	0.1%
21	天城	2	0.1%
22	伊佐	2	0.1%
23	薩摩川内	2	0.1%
24	南さつま	2	0.1%
25	さつま	1	0.1%
26	東串良	1	0.1%
27	南九州	1	0.1%
28	無回答	6	0.4%
合計		1,545	100.0%

(7) 内容別受講者数 (割合)



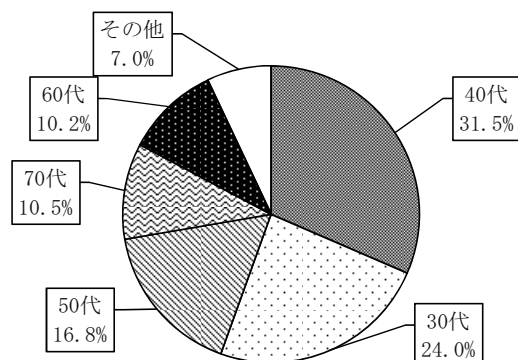
(8) 受講者の居住地 (割合)



(9) 受講者の年齢及び性別

年齢	男	女	合計	割合
10歳未満	8	6	14	0.9%
10代	1	13	14	0.9%
20代	7	41	48	3.1%
30代	51	320	371	24.0%
40代	102	385	487	31.5%
50代	119	140	259	16.8%
60代	87	71	158	10.2%
70代	78	84	162	10.5%
80歳以上	7	25	32	2.1%
合計	460	1,085	1,545	100.0%
割合	29.8%	70.2%	100.0%	

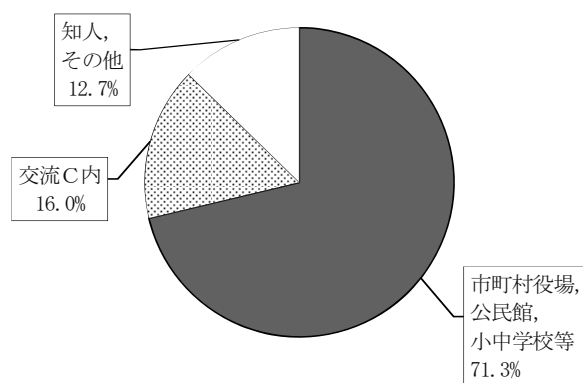
(9) 受講者の年齢 (割合)



(10) 講座チラシ入手先

会場市町	役場等	交流C	知その他 人他	合計
いちき串木野市	33	1	8	42
指宿市	21	2	1	24
出水市	9	0	3	12
霧島市	35	4	11	50
鹿屋市	105	1	11	117
南大隅町	56	3	0	59
屋久島町	16	0	5	21
伊仙町	22	3	1	26
知名町	28	0	5	33
交流センター	62	73	24	159
合計	387	87	69	543
割合	71.3%	16.0%	12.7%	100.0%

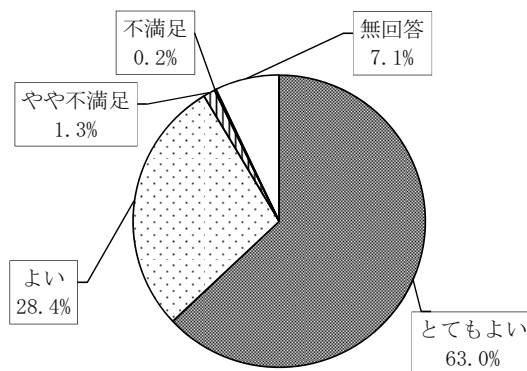
(10) チラシの入手先(割合)



(11) 講座の評価(受講者へのアンケート結果から)

項目	人数	割合
とてもよい	721	63.0%
よい	325	28.4%
やや不満足	15	1.3%
不満足	2	0.2%
無回答	81	7.1%
合計	1,144	100.0%

(11) 講座の評価(割合)



3 かがしま県民大学連携講座

(1) 概要

ア 趣旨

多様化・高度化する県民の生涯学習ニーズに応えるために、大学等の教育機関、市町村等の公的機関、民間の団体等と中央センターが連携して、生涯学習の機会を広く提供するために公開講座等を実施する。

イ 対象者

県民(年齢は問わない。)

ウ 連携可能な機関・団体等

次のいずれかに該当するもの。

- ・ 大学，短期大学，高等専門学校，専修・各種学校
- ・ 国・県及び市町村等の公的機関
- ・ 鹿児島県内に主たる事務所を有する民間教育機関の事業者
- ・ 鹿児島県内に主たる事務所を有する生涯学習の推進に資するNPO法人
- ・ 中央センター主催講座修了生等が結成した自主活動グループ
- ・ その他，生涯学習の推進に資する団体

エ 申請できる講座の条件

- (ア) 広く県民一般を対象としたものであること。
- (イ) 次の項目のいずれかに該当するものであること。
 - ・ 県民の多様化・高度化するニーズに対応した内容
 - ・ 独自性・専門性を生かした高度で専門的な内容
 - ・ 中央センターが必要と認める内容
- (ウ) 次の項目のいずれにも該当しないものであること。
 - ・ 営利を目的とする内容を含むもの(事業や物品の広報，人材の勧誘や募集活動を含む。)
 - ・ 特定の政党，宗教，宗派の利害を目的とした内容を含むもの
 - ・ 公序良俗に反する内容を含むもの
- (エ) 公演(演奏会，演劇等)に類する講座については，認めない。
- (オ) 中央センターが設定したテーマに沿った内容の講座であること。
- (カ) 人材育成講座受講修了後講座を開設する場合は，原則通算3年を上限とする。

オ 会場

交流センター及びその他の会場

カ 会場使用料

交流センターを使用する場合は、「かがしま県民交流センターの設置及び管理に関する条例施行規則第9条第1項第1号」により使用料全額免除とする。その他の会場で開催する場合は、申請者の負担とする。

キ 受講料

受講料は、著しく高額としないことを基本とし、中央センターとあらかじめ協議を行って決定する(必要な材料費、テキスト代等の実費は、受講者負担とすることができる)。

ク 開催時間等

連携講座実施機関の設定した時間(但し、交流センターの閉館日を除く。)

(2) 講座内容等一覧

ア 大学等

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期 日	回	会 場	定員	受講者数	
								小計	合計
1	鹿児島大学病院	1	痛みからの解放	10月28日 (日)	1	交流センター 大ホール	400	309	309
2	鹿屋体育大学	2	Short Story Creation～簡単な物語を英語で作って, 発表しよう!	5月9日(水) ～ 6月6日(水)	5	大学構内	各12	32	32
3	鹿児島国際大学	3	鹿児島の歴史や文化, 郷土の先人についての講座	2月24日(日)	1	鹿児島市 中央公民館	100	686	686
4	志学館大学	4	図書館をさわめる	4月28日(土) ～ 7月21日(土)	7	大学構内	各30	254	254
5	鹿児島純心女子大学	5	さわやか健康栄養教室	10月6日(土) ～ 12月1日(土)	4	大学構内	各40	115	115
6	鹿児島県立短期大学	6	食料と環境	4月14日(土) ～ 6月16日(土)	8	短大構内	各60	152	152
7	第一幼児教育短期大学	-	親子で遊ぼう ～うたってうごいてくっついて～	(中止)	-	短大構内	親子 15組	-	-
8	鹿児島純心女子短期大学 江角学びの交流センター	7	シルバー世代のための健康・教養講座	7月7日(土) ～ 9月22日(土)	5	中研2他	各20	133	602
		8	文化講演会 「きばいやんせ鹿児島んおごじょ-女性の力でかごしまを元気にするつどい-」	9月16日(日)	1	交流センター 大ホール他	200	270	
		9	「かごしま学」公開講義・文化講演会	7月5日(木)	1	短大構内	200	199	
9	鹿児島女子短期大学	10	高齢者の健康づくり講座	7月21日(土) ～ 11月10日(土)	4	短大構内	各30	111	352
		11	くらしと文化講座	10月6日(土)	4	短大構内	30～50	146	
		12	第24回 これからの子育て	8月8日(水) ～ 8月9日(木)	7	短大構内	親子 30組	95	
10	放送大学鹿児島学習センター	13	放送大学鹿児島学習センター公開講演会	7月8日(日) ～ 2月17日(日)	4	放送大学	各80	431	546
		14	奄美大島地域における放送大学鹿児島学習センター公開講座	5月13日(日) ～ 12月9日(日)	4	県立奄美図書館	各40	115	
11	鹿児島工業高等専門学校	15	鹿児島高専のおもしろ実験教室 ～アイスクリーム作りに挑戦	8月12日(日)	1	交流センター 工芸室	10	16	23
		16	生活の中の機械工学	9月29日(土)	1	交流センター 小研修室3	10	7	

イ 行政機関等(含公財)

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期 日	回	会 場	定員	受講者数		
								小計	合計	
12	県立青少年研修センター	17	クラフト活動	クリスマスミニリース	12月9日(日)	2	交流センター 工芸室	各40	58	129
		18	〃	昆虫クラフト	1月19日(土)	2		71		
13	県立霧島自然ふれあいセンター	19	レザークラフトに挑戦しよう!	レザークラフトキーホルダー1	2月17日(日)	1	交流センター 工芸室	各40	16	32
				レザークラフトキーホルダー2	2月24日(日)	1		16		
14	南薩少年自然の家	20	吹上浜の砂でサンドグラス		1月20日(日)	1	交流センター 工芸室	30	39	39
15	県立奄美図書館	21	あまみならでは学舎		5月26日(土) ～ 1月19日(土)	8	県立奄美図書館	-	789	789
16	(公財)かごしま産業支援センター	22	小規模事業者・起業を目指している方に役立つ講座		6月9日(土) ～ 12月1日(土)	5	交流センター 小研3	各20	54	54

ウ 教育団体

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期 日	回	会 場	定員	受講者数		
								小計	合計	
17	鹿児島県マルチメディア教育研究会	23	メディア教育セミナー -明日からの実践につながるICTの活用-		8月10日(金)	1	交流センター 大ホール	100	102	102
18	鹿児島県視聴覚教育研究協議会	24	第67回九州地方放送教育研究大会 ～西郷どんと鹿児島の教育～		2月15日(金)	1	交流センター 県民ホール	200	208	208

エ NPO法人

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期 日	回	会 場	定員	受講者数		
								小計	合計	
19	かごしま遺伝子活用普及協会	25	からだの健康・病気と遺伝子		7月28日(土) ～ 10月13日(土)	5	交流センター 小研2他	各30	96	96
20	global	26	100秒の英語で伝える西郷どん		9月1日(土) ～ 9月29日(土)	5	交流センター 小研2他	各30	20	20

オ 自主グループ等

No.	実施機関	No.	講座名及び内容など	期 日	回	会 場	定員	受講者数		
								小計	合計	
21	らくらくピアノの会	27	中高年から始めるらくらくピアノ		5月29日(火) 6月12日(火)	2	交流センター スタジオ	各15	23	23
22	韻天流天吹塾	28	自作の天吹で音色を楽しむ (1回中止)		5月16日(水) ～ 7月25日(水)	4	交流センター 工芸室他	各15	80	80
23	健康大学	29	認知症・介護・地域支援講座		5月19日(土) ～ 2月16日(土)	5	交流センター 大研3他	各80	204	204
24	人材育成修了者による生涯学習講座	30	だれでもヨガ講座		9月6日(木) ～ 11月1日(木)	5	交流センター スタジオ	各15	48	48
25	人材育成修了者による生涯学習講座	31	第2回あなたに優しい心理学		4月22日(日) ～ 6月10日(日)	5	交流センター 小研2他	各20	47	47

カ ア～オの総計

講座数 31 講座

講座回数 111 回

受講者数 4,942 人

(3) 成果・課題及び受講者の感想(各団体実施報告書からの抜粋)

ア 成果

- ・ 來生新放送大学学長の講演では「近世から近代に至る歴史的背景などを解説していただき、当時の時代に果たした役割や国家の介入など、より深く理解できた。」「戦前、戦後の教育制度の変遷がよくわかった。」「これからも学び続けることの大切さを実感した。」「働きながらも学べる放送大学の役割の大きさ・重要性を改めて認識した。」「通信制度の発達が教育に及ぼした効果について知ることができた。」、などの感想が寄せられた。また、原口泉県立図書館長の講演では「知識も豊富で現代から歴史、世界の話までグローバルな話を聞かせていただき、とても楽しいひとときだった。」「明治維新から150年経った今頃になって奄美の存在が奄美の人々にも理解されはじめたことに感謝したい。」「まだまだ話が聞きたかった。」「熱弁に心を打たれ聞き入ってしまった。」「大河ドラマにまつわる話をもっと聞きたかった。」などの感想が寄せられた。このように2本の講演とも満足度の高い内容となったようである。
- ・ 聴講後のアンケートでは「離島における病害虫対策について、地道な取組が大切であると思った。」「具体事例や研究成果を紹介していただき、参考になった。」「早速、自宅でもやってみたいと思う。」等の声をいただいた。また、農業に従事にされている方から、家庭菜園を始めたばかりの方まで、幅広い方のニーズに応える内容であったことがわかった。
- ・ 今年も高齢者の健康づくりに役立つ多様な講座を開講したが、受講者の知識意欲も旺盛で満足度も全体で90%と非常に好評だった。今回は宗教(仏教)の講座を取り入れ、精神面での健康や生きがいなども考える機会となり大きな反響があった。
- ・ 親子で取り組む「親子クッキング」などは特に好評で一緒に過ごす時間が如何に大切かがよくアンケートコメントに現れていた。満足度では2日間通して「満足」90%、「まあまあ満足」10%と全員が満足できた公開講座であった。
- ・ 大河ドラマ「西郷どん」等の効果もあり、鹿児島県の歴史に関する講演や史跡を巡るフィールドワーク(まちあるき)は例年以上に人気が高かった。また全員で楽しめる懐かしい歌の講座も定員を上回る申込みがあり盛況だった。回答者の95.08%が満足・まあまあ満足と回答し満足度が高かった。
- ・ 毎回、講座の最初に英語で行う講義で、具体例を用いながら少しずつ説明とQ&Aを行った結果、Storyの構成、要素などについての理解を深めることができた。また、講義の後に行うグループワークで、英語による対人コミュニケーション能力が伸びただけでなく、最終的には、Creativityを駆使したオリジナルのStoryを、英語で完成することができた。さらに、各自のStoryを聴衆に対して発表(読み聞かせ)することができ、達成感と自信を持つことができた。
- ・ 交通の便がよい県民交流センターで実施することにより、これまで来所する機会のなかった方々の参加を得ることができ、県立青少年研修センターのPRにもつながった。「幼児の制作もさせてほしい。」という昨年度の反省から、説明の中で幼児ができる活動を示すことで、幼児から大人まで工夫して創作活動に取り組むことができた。
- ・ 「全国城サミット」の企画の一部に組み込まれたこともあり、会場は満席となる盛況ぶりだった。時間の都合で質問を受け付けることができなかったが、会終了後に個別で質問を受け付ける時間を設けた。みなさん非常に熱心に聴講されており、たいへん嬉しく思った。
- ・ 初めて天吹を知り、自分の笛を手にして音が出たときの大変な驚きと嬉しさを感じたように、天吹が吹けるようにと毎回熱心に練習に取りくんでいただいた。今回もアシスタントの方々の指導があり、上達した方々が多く見られるようになった。天吹が受講者の今後の人生の大きな励みになると感じた。
- ・ 健康維持活動の一環として、シニア層に取りくんでいただいた。実技を伴う講座であったが、積極的に参加していただいた。
- ・ 外国の方々に、西郷さんや当時の歴史背景に興味を持ってもらえるような英語表現を紹介し、参加者には、海外から見た西郷さんに非常に関心を持っていただいた。時間内に、英文暗記も達成でき、今後の生涯学習への意欲と継続に繋がったと思う。

イ 課題

- ・ 今回は、大きなイベントと重なったにも関わらず、定員に近い受講者を得ることが出来たのは、それだけ地域のニーズに沿った講座テーマであったからだと思う。今後も、地域のニーズに応える講座テーマの設定と、受講者増のためのより一層の広報活動が必要である。
- ・ 幅広いニーズに応える講座テーマの設定と、受講者増のため、より一層の広報活動が必要であると考える。
- ・ 対象が高齢者だと、SNSなど電子媒体の活用による募集・広報は難しい。受講者のほとんどが本学からのDMによる参加で、DMが届く範囲での参加者に固定されてしまう傾向もある。幅広く告知でき高齢者にとって認知しやすい伝達手段を検討したい。
- ・ 今年は天候が不順で、公開講座当日は大型台風の直撃を免れたものの一時は中止を検討する状況だった。今後とも参加者の安全を第一に考えた対応を取りたい。また今回参加者の年齢構成では60歳以上が全体の91.3%を占め、高齢者の割合が圧倒的に多かった。高齢者向けセミナーは別途行っており、「くらしと文化講座」の独自性を今後検討したい。
- ・ 講座はオールイングリッシュで行ったので、受講者は理解するのが難しいと感じた部分があったかもしれない。このような点を改善するため、今後はできるだけシンプルで分かり易い英語を用いて、言い換えや繰り返しをしたり、説明の提示の仕方をさらに工夫するなどして分かり易くする必要があると考える。
- ・ 開催当日に気温が下がったことで、体調不良によるキャンセルが相次いだ。キャンセルを見込んだ参加者数の決定と、キャンセルの際の事前連絡の周知を図る必要がある。
- ・ 次回の講座では、もう少し時間に余裕を持ち、来場した方々からの質問を受ける時間を設け、より充実した内容となるよう運営していきたい。
- ・ 5回の講座で天吹をマスターすることは困難な面があるが、多くの方から、自分の天吹を手にした以上、練習を続けたいと希望が出されたので、現在活動している韻天流天吹塾の紹介をしている。
- ・ 歴史と英語を同時に学べ、郷土への関心を高め、観光へ貢献できる講座であると思う。今後は、チラシの表現や配布方法、開催時期を変更し、参加者の増員に努めたい。

(4) 講座の様子



「放送大学」公開講座
(放送大学鹿児島学習センター)



Short Story Creation ～簡単な物語を英語で作って、発表しよう！
(鹿屋体育大学)



クリスマスミニリースづくり
(県立青少年研修センター)



自作の天吹で音色を楽しむ
(韻天流天吹塾)



中高年から始めるらくらくピアノ
(らくらくピアノの会)



病気と遺伝子
(NPO かごしま遺伝子活用普及協会)

(5) 総括

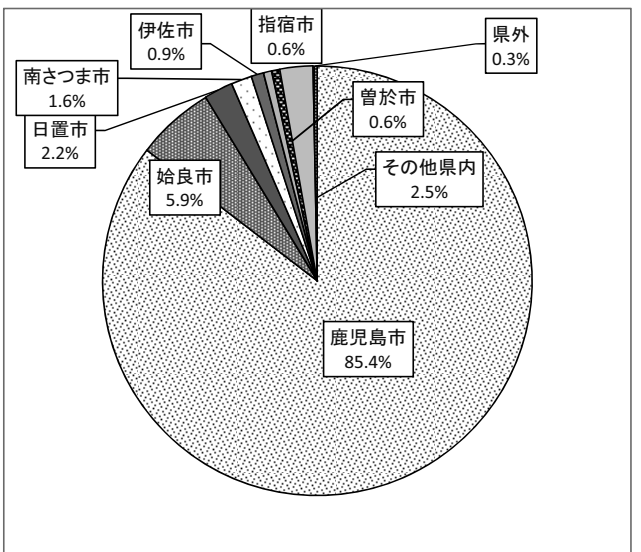
ア 連携先、講座、受講者の数

連携先		連携先 件数	講座数	実施回数	受講者数
大学等	大学	5	5	18	1,396
	短期大学	4	7	30	1,106
	放送大学	1	2	8	546
	高等専門学校	1	2	2	23
行政 機関 等	県	4	5	15	989
	市町村	0	0	0	0
	公益財団法人	1	1	5	54
民間教育機関		2	2	2	310
NPO法人		2	2	10	116
自主グループ		5	5	21	402
合計		25	31	111	4,942

イ 受講の状況(居住市町村別の受講者数)

市町村等	講座の実施時間帯別受講者数					居住市町村別 受講者数	
	平日		土曜日	日曜日	土日 連続	合計	割合
	昼間	夜間	昼間	昼間	昼間		
鹿児島市	24	0	195	56	0	275	85.4%
始良市	4	0	9	6	0	19	5.9%
日置市	0	0	6	1	0	7	2.2%
南さつま市	0	0	5	0	0	5	1.6%
伊佐市	0	0	1	2	0	3	0.9%
指宿市	1	0	1	0	0	2	0.6%
曾於市	0	0	2	0	0	2	0.6%
その他県内	0	0	7	1	0	8	2.5%
県外	0	0	0	1	0	1	0.3%
合計	29	0	226	67	0	322	100.0%
割合	9.0%	0.0%	70.2%	20.8%	0.0%	100.0%	

居住市町村別の受講者数

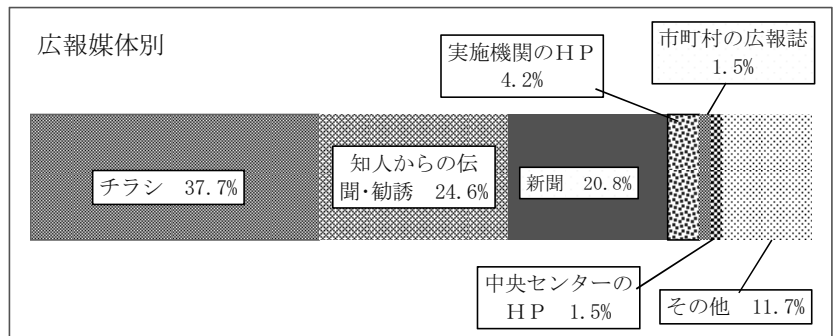


※ 交流センター会場の受講者から抽出したモニター結果

ウ 講座情報入手の状況

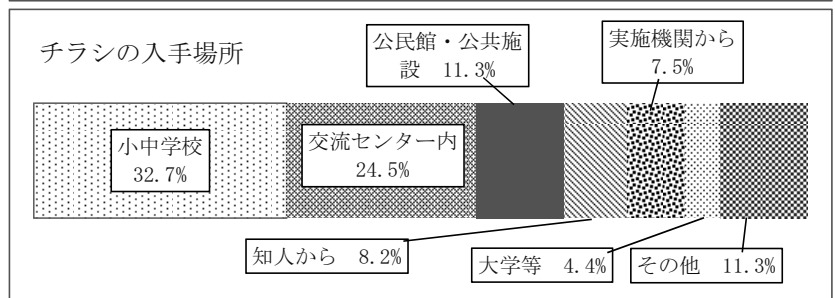
(ア) 広報媒体別(複数回答)

広報媒体	受講者数	割合
チラシ	127	37.7%
知人からの伝聞・勧誘	83	24.6%
新聞	70	20.8%
実施機関のHP	14	4.2%
市町村の広報誌	5	1.5%
中央センターのHP	5	1.5%
テレビ・ラジオ	0	0.0%
その他	33	9.8%
合計	337	100.0%



(イ) チラシの入手場所(複数回答)

場所	受講者数	割合
小中学校	52	32.7%
交流センター内	39	24.5%
公民館・公共施設	18	11.3%
知人から	13	8.2%
実施機関から	12	7.5%
大学等	7	4.4%
その他	18	11.3%
合計	159	100.0%



※ 交流センター会場の受講者から抽出したモニター結果

4 メディア研修講座

(1) 概要

ア 趣旨

(ア) 県民対象研修講座

生涯学習の指導者や指導補助者として教育メディアを活用できる人材育成のため、チラシづくりやビデオ制作などの講義・実習等を通して、資料作成や情報発信に役立つ知識・技術の習得を図る。また、地域活性の一助となるように工夫する。

(イ) 教育関係者対象研修講座

学校や市町村で「教育の情報化」に対応できる指導者を養成するため、コンピュータ等のICT機器を用いた教材の制作や活用に関する講義・実習等を通して、学習指導法の改善や学習指導力の向上を図る。

イ 主催

中央センター（連携講座については、中央センター及び連携先）

ウ 指導者

中央センター指導主事等

エ 場所

交流センター（西棟5F制作演習室）

(2) 講座内容・実施状況

ア 県民対象研修講座 12講座





No	研修講座名	期 日	主 な 内 容	受講者	延受講者
1	地域役員のための文書・チラシ作成基礎講座	4月21日（土）	・MS-Wordの基本操作と案内文，チラシ作成のポイント，作成の実際	13	13
2	地域役員のための文書作成応用講座	6月23日（土）	・MS-Wordを活用した見やすい，分かりやすい文書，資料の作成	12	12
3	地域役員のための名簿・会計簿作成基礎講座	4月22日（日）	・MS-Excelの基本操作と名簿や会計簿作成のポイント，作成の実際	11	11
4	地域役員のための表計算ソフト活用応用講座	6月24日（日）	・MS-Excelの関数を利用した効率的・効果的な資料の作成	14	14
5	デジカメ活用講座～撮影の基礎と簡単な編集～	5月19日（土）	・デジカメ撮影の基礎 ・画像処理ソフトの活用	10	10
6	デジカメ撮影講座～ワンランクアップをめざして～	10月27日（土）	・デジカメの効果的な活用 ・各種機能の使い方と撮影の実際	7	7
7	ビデオ撮影の基礎知識～秋の行事を撮ろう～	9月1日（土）	・効果的なカメラワーク ・映像作品の構成と撮影の実際	2	2
8	ビデオ編集の基礎知識～お正月を撮ろう～	12月15日（土）	・効果的なカメラワーク ・映像作品の構成と撮影の実際	3	3
9	ネット社会の歩き方教室～情報モラルとセキュリティ～	7月21日（土）	・疑似体験を通じた情報モラルや情報セキュリティの理解と実践	18	18
10	プログラミングにチャレンジ～親子で学ぶプログラミング～	6月16日（土）	・小学校に導入されるプログラミング教育の考え方と体験	41	41
11	地域活動に生かす～SNSで情報発信～	10月13日（土）	・タブレットやスマホを活用した地域の情報発信の方法と実際	8	8
12	地域活動に生かす～タブレットでプレゼン～	2月23日（土）	・タブレットやスマホを活用して行う効果的なプレゼンテーションの作成と実際	8	8
県民対象講座受講者合計				147	147

イ 教育関係者対象講座 8講座 (■教育関係団体との連携)

No	研修講座名	期 日	主 な 内 容	受講者	延受講者
1	教育メディア担当者研修会	5月25日(金)	・教育メディアに関する講義 ・映画フォーラムの方法と実際 ・映像教材の利用促進事例発表	14	14
2	授業に生かせるデジタルコンテンツ制作研修講座	8月8日(水) ～9日(木)	・教育メディア活用の意義 ・静止画・動画コンテンツの制作 ・授業での活用	16	32
3	プログラミング研修講座①	8月3日(金)	・プログラミング教育の先進事例の紹介 ・プログラミングの体験と研究討議	7	7
4	プログラミング研修講座②	7月27日(金)	・プログラミング教育の先進事例の紹介 ・プログラミングの体験と研究討議	19	19
5	教育メディア活用講座	8月23日(木) ～24日(金)	・教育メディア総論 ・マルチメディアを活用した教材制作 ・タブレットを活用した実践	8	16
6	タブレット・スマホで情報発信～地域素材を生かす～	11月14日(水)	・映像素材の活用 ・撮影・編集の実際 ・生涯学習と映像利用	8	8
■ 7	メディア教育セミナー(鹿児島県マルチメディア教育研究会)	8月10日(金)	・情報教育に関するシンポジウム ・情報教育に関する講演 ・情報教育指導の事例発表	110	110
■ 8	県放送教育・情報教育研究セミナー(鹿児島県視聴覚教育研究協議会)	2月15日(金)	・放送教育・情報教育に関する講演 ・放送教育・情報教育に関する実践発表やワークショップ (第67回九州地方放送教育研究大会)	208	208
教育関係者対象講座受講者合計				390	414
メディア研修講座合計				537	561

(3) 受講者の感想等

ア 県民対象研修講座

<p>① 地域役員のための文書・チラシ作成基礎講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活で最も使うと思われる事例を過不足なく取り入れてあった。 ○ 案内チラシで装飾ができるようになったので文字だけでは味気なく素っ気ない案内が更に興味を引いてもらえるので嬉しかった。 	   
<p>② 地域役員のための文書作成応用講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 仕事で使っていきたいのと、自分のお知らせのようなものを作って知人に送ってみたい。 ○ 忘れていたところも多数あってとても助かった。花びらアートの作成が他の描画へ反映できると感じた。 	
<p>③ 地域役員のための名簿・会計簿作成基礎講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現役を離れて、長く経っており、Excelはあまり使う機会がなかったため、忘れていたことを思い出すことができ、大変勉強になった。 ○ ガイドの会計補佐と事務局長をしているため、名簿作成、会計報告はすぐに役立つので、ありがたいと感じた。 	
<p>④ 地域役員のための表計算ソフト活用応用講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校区の長寿会の計算やグランドゴルフの成績表等を作成したい。 ○ 仕事でもデータベース機能を使うことが多いので、役員としての仕事だけでなく、両方に生かしたい。 ○ 自宅での編集や役員活動に生かしていきたい。 	
<p>⑤ デジカメ活用講座～撮影の基礎と簡単な編集～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの経験の中で、どうしても暗く写ってしまうことがあり原因が分からなかったが、ISO感度の設定の工夫でうまくいくことが分かった。次回チャレンジしたい。 ○ 加工の仕方が分かって良かった。日常の楽しみに生かしていきたい。 ○ デジカメの設定内容が分かりやすく良かった。日頃のデジカメ写真に生かしたい。 	

<p>⑥ デジカメ撮影講座～ワンランクアップをめざして～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会で皆さんに紹介したい。 ○ これまではカメラの機能をほとんど理解せず適当にプログラム（オート）で撮っていた。これからは1枚1枚丁寧に、そしていろいろと操作機能を使ってカッコいい写真を撮りたい。 	
<p>⑦ ビデオ撮影の基礎知識～秋の行事を撮ろう～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 撮影の基礎を学ぶことができた。 ○ 仕事や私生活における行事撮影で生かしていきたい。 	
<p>⑧ ビデオ撮影の基礎知識～お正月を撮ろう～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マンツーマンで、親切丁寧な指導をしてくださり、よく分かった。 ○ 苦手意識があったが、これからは自分で撮影し編集もチャレンジしたい。 	
<p>⑨ ネット社会の歩き方教室～情報モラルとセキュリティ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己流でセキュリティ対策をやっていたが、改めて専門家からお聴きする機会を得て良かった。 ○ ネット社会で気をつけるべき事を多く学んだ。注意してこれからは過ごしていこうと思う。 	
<p>⑩ プログラミングにチャレンジ～親子で学ぶプログラミング～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家でまたやりたかったと思った。(児童) ○ プログラミング、どういうものだろうと思っていたので、実際に体験することで理解できた。家でも続きができると思うので、子供も喜んでいました。これから家でも楽しくプログラミングをしようと思う。(保護者) 	
<p>⑪ 地域活動に生かす～SNSで情報発信～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ SNSについて、たくさん学ぶことができた。まだ、分からないことも多いので繰り返し学んでいこうと思う。 ○ だいたいの内容は理解したつもり…実行できるかどうか、これから練習したい。 	
<p>⑫ 地域活動に生かす～タブレットでプレゼン～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タブレットやPowerPointを初めて使ったので、知らないことを教えていただき、ありがたかった。 ○ プレゼン中に注意してほしいところを拡大できるのがとてもいいと思う。ぜひ活用したい。(レーザーポインタを使用すると気分が悪くなる方もいるので) 	

イ 教育関係者対象研修講座

<p>① 教育メディア担当者研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 講師情報のページ等は初めて知った。今後に活用したい。 ○ 視聴覚の必要性を改めて理解することができた。著作権法についても気をつけなければならないと思う。 	
<p>② 授業に生かせるデジタルコンテンツ制作研修講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自由に活動できる時間が多かったことがよかった。スライドショーをいろんな場面で活用したい。 ○ プログラミングについても学ぶことができた。分野ごとのまとめ教材をつくりたい。 	
<p>④ プログラミング研修講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「アンブラグド」は、業務や研修の中でも使える手法だと思った。 ○ 「Scratch」はおもしろくて没頭してしまうが、こればかりになるのはプログラミング教育にはならない。では、「Scratch」をどう使うかを考えなければならないと思った。 	
<p>⑤ 教育メディア活用講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校内での職員研修に生かしていきたい。 ○ 実際の演習が多く、とても良かった。 	
<p>⑥ タブレット・スマホで情報発信～地域素材を生かす～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実際の放送現場でしかもSNSを担当する方の話はとても勉強になった。 ○ 情報発信のメリット、デメリットを認識することが出来よかった。 	

5 来所研修

(1) 趣旨

教育メディアに関する研究テーマや課題をもったグループ・団体又は個人が来所して、職員の指導・助言のもとに、理論研究や操作演習を通して問題解決を図り、併せて教育メディアの利用促進を図る。

(2) 対象及び内容

ア 自主グループによる来所研修

- (ア) 中央センターで実施しているビデオやパソコンに関する講座を受講した人を中心に活動しているグループを対象としている。
- (イ) 平成31年3月現在、5グループが自主的に活動している。(ビデオ関係3グループ・パソコン関係2グループ)

イ 県民による個人での来所研修

- (ア) 原則として中央センターの講座修了者を対象とする。
- (イ) 電話や文書で事前に所属名・研修者氏名・研修内容を確認し、来所研修申込みを受け付ける。

ウ 学校教育・社会教育関係者による来所研修

- (ア) 電話や文書で事前に所属名・研修者氏名・研修内容を確認し、来所研修申込みを受け付ける。
- (イ) 部活動や学級活動など児童生徒が来所研修する場合は、顧問の教員や担当者の同伴を条件とする。

(3) 実施日

原則として、開館日の午前9時～午後5時とする。
ただし、休館日・研修講座開催日・業務に支障をきたす恐れのある日は除く。

(4) 成果

ア 地域社会への貢献

各地域の美しい自然や優れた伝統芸能・地域行事等を映像化して、地域公民館や学校・教育関係等へ提供している。

イ 指導者・サポーターとしての貢献

各市町村で行われる研修会等での指導者や中央センターで行う講座のサポーターとして活躍している。

ウ 県及び全国視聴覚教材コンクールへの出品

来所研修をしている方が制作したビデオ作品やパソコン教材が、県自作視聴覚教材コンクールに毎年多数応募されている。全国のコンクールに出品し、ここ数年高い評価を得ている。

エ 自主グループ発表会「ふれあいメディアフェスティバル」の実施

自主グループの日頃の活動の様子や成果を発表し合い、お互いの交流や親睦を図ることによりメディア教育に関する知識や技術の向上が図られている。



制作演習室



パソコン演習室



ビデオ編集室

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15	—	124	91	164	147	190	315	166	73	136	212	50	1,668
16	176	160	210	247	108	126	186	131	116	107	216	184	1,967
17	118	236	368	434	158	244	245	178	107	264	446	146	2,944
18	119	137	243	250	427	275	248	311	139	198	165	213	2,725
19	199	147	205	273	358	280	244	313	205	275	239	232	2,970
20	270	152	206	387	188	265	296	266	201	275	349	147	3,002
21	272	166	295	294	245	197	296	393	218	320	323	193	3,212
22	154	135	245	206	152	146	229	244	108	174	238	183	2,214
23	176	174	202	207	150	151	280	318	375	137	355	102	2,627
24	291	205	271	218	175	234	249	274	213	223	359	117	2,829
25	198	167	230	171	123	207	156	181	115	201	119	59	1,927
26	226	190	101	141	122	151	188	177	143	165	164	59	1,827
27	151	177	88	142	34	143	106	234	124	142	158	87	1,586
28	83	82	180	77	41	111	112	167	94	180	158	42	1,327
29	135	87	145	96	39	122	143	146	136	189	115	65	1,418
30	151	122	89	67	50	93	122	118	100	61	169	68	1,210

表 オープン当初からの来所研修による利用状況（平成31年3月31日現在）

Ⅲ 学習情報の提供

1 学習成果発表の場の提供

(1) 生涯学習団体等の作品展示(生涯学習ふれあい展示)

ア 趣旨

県民が生涯学習として取り組んでいる創作・文化活動の成果を発表する場を提供するとともに、生涯学習に取り組む団体・個人の交流を促進し、本県の生涯学習のより一層の振興を図る。

イ 平成30年度の利用団体

平成30年度ふれあい展示実施団体年間一覧			
かごしま県民大学中央センター			
期 日	実 施 団 体 名	市町村等	展 示 内 容
第1回 平成30年 6月26日(火) ～ 7月8日(日) <13日間>	1 精神保健福祉ボランティア サークルゆめの実	鹿児島市	絵画, 彫刻
	2 和田弘子	鹿児島市	絵手紙
	3 垂水エコクラフト手芸	垂水市	手芸
	4 上之園紀子押し花クラフト アート教室	鹿児島市	押花, グラスアート, アートプリント
第2回 平成30年 9月19日(水) ～ 9月30日(日) <12日間>	5 中央絵手紙友の会	鹿児島市	絵手紙
	- 梅北克己拓本クラブ (出展辞退)	鹿児島市	拓本
	6 社団法人鹿児島市母子寡婦 福祉会	鹿児島市	小物, 絵画, 習字
第3回 平成30年 12月11日 (火) ～ 12月24日 (月) <14日間>	7 武岡デジカメ同好会	鹿児島市	写真A4
	8 放送大学鹿児島学習セン ター	国	パネル
	9 久保てつを	鹿児島市	絵手紙
	10 薩摩川内市教育委員会 上甕島教育課	薩摩川内市	写真, 絵画, 書道, 俳 句
	11 ペーパーフラワー 宮路慶子教室	西之表市	ペーパーフラワー
第4回 平成31年 2月1日(金) ～ 2月10日(日) <10日間>	12 青少年研修センター	鹿児島県	パネル, クラフト
	13 NPO鹿児島渚を愛する会	鹿児島市	写真
	14 霧島自然ふれあいセンター	鹿児島県	レザークラフト, 焼き板 他
	15 南薩少年自然の家	鹿児島県	パネル, クラフト
※ どの回も初日は設営日			

ウ 各回の展示の様子

【第1回ふれあい展示】



<設営風景>



<体験活動>



<体験活動>



<全体集合写真>

【第2回ふれあい展示】



<設営風景>



<会場風景>



<会場風景>



<全体集合写真>

【第3回ふれあい展示】



<設営風景>



<会場風景>



<体験活動>



<全体集合写真>

【第4回ふれあい展示】



<設営風景>



<体験活動>



<体験活動>



<全体集合写真>

【広報・会場】



<外周の掲示板>



<会場の様子>

エ 参加者の感想(参加団体・参観者・出品者)

【参加団体】

- ・ エコクラフトに興味を持っていらっしゃる方、また、初めての方から意見をもらい、勉強をさせていただいた。
- ・ ワークショップでは、想像力豊かな子供さんたちに刺激を受けたので、次の作品に生かしていこうと思った。
- ・ 今回、開催中にハーバリウムのワークショップを実施した。予定を超える参加者で、大変盛り上がった。
- ・ 会場は、広々としたフロアで壁もきれいで素晴らしい環境の展示会場だ。このような会場で展示できることを大変嬉しく思っている。作品を作りながらも展示する機会に恵まれない方がたくさんいると思うので、是非PRしてほしい。私達もこんな会場があることをPRしたい。
- ・ かがしま県民大学中央センターの実に丁寧な対応により、私は二回目でしたが安心して何でも相談でき御指導もいただいた。ありがとうございました。次回も是非お願いしたいと思う。
- ・ 全ての作品を見て味わいと迫力を感じ最高の作品だった。皆さんの一年間の活動の充実を感じよい勉強になった。そして来年の作品はもっともっと頑張らなければと励みとなった。生徒の皆さんの作品づくりの意欲を引き出すには、やはり展示場所を多く作ることだと思うので来年も展示の方よろしくお願ひしたい。
- ・ 初めての会場でとまどいがあったが、非常に立派なギャラリーを開設していただき感謝している。ただ、交流センターの利用者の多くが、1、2階中心で6階のギャラリーの認知と6階までの導線が課題と思われる。ギャラリー展示について、私達武岡デジカメは、知人に案内することに加え、南日本新聞の「みなみのカレンダー」への掲載を申し込み、写真展に興味のある方々への周知を図っている。それぞれの出展団体が同様の取り組みを行うことによって来場者が多く集まることを期待している。
- ・ 今年度は昨年度に比べて展示スペースが広く、昨年の数と同じ作品では空きスペースが多い。
- ・ スペースも私たちの施設にとっても広すぎるくらいでありがたかった。

【参観者・出品者】

- ・ とても素晴らしい環境で出展できたことを誇りに思う。今回広く集客して下さったことに厚く御礼申し上げる。出来れば1階受付ロビーにも大きく掲示して欲しい。迷う方もいらっしゃるようだ。こんなに素晴らしい展示会、おもてなしにはりきりたい。
- ・ 素敵な会場だともっと多くの人に知ってもらったらいいのにと口々に言っていた。
- ・ 生涯学習を通じ明るい毎日が過ごせたらと思う。すばらしい。
- ・ とてもたくさん作品を見せてもらい、よかった。入り口などが分かりにくく、エレベーター内かエレベーター入り口に何か置いてくださると助かる。
- ・ また来てみたいなど思った。何気なくよったが、興味をひかれた。
- ・ エレベータを降りても会場が分かりにくく、帰った人もいたと聞いた。もう少し分かりやすく案内板等考えていただければいいと思った。今、何を開催しているかの立て看板があれば会場入り口も分かりやすいと思う。
- ・ 多くの方が展示・発表の場を求めており、励みにされる方が多いようだ。広いスペースで誰でも来れる雰囲気がとてもいい。
- ・ 広々として作品がとても見やすい。子供が出展させてもらった。元気が出る作品がたくさんあった。
- ・ とても楽しい時間をありがとうございます。添えられた言葉にそうだよねと思い、この絵が好き、このオブジェが好きと思える作品に出会えて嬉しかった。
- ・ 展示作品を見た瞬間「ワーッ」と胸に驚きの思いがわき上がった。うれしくて、その発想に感じ入り、子にも孫へも贈りたい。製作を受けていただき、ほんに幸せ。子孫の胸にも素晴らしいしあわせが満杯のよろこびに満ちることと思った。
- ・ 感動、感激、自分も挑戦してみようかな。
- ・ 特に興味深くみせてもらった。先生により伝え方が違うように感じた。

(2) メディア研修講座修了者による 「ふれあいメディアフェスティバル」

ア 趣旨及び概要

生涯学習の一環として、中央センターで活動している自主グループの日頃の学習の様子や成果を発表し合い、お互いの交流や親睦を図ることを目的としている。

自主グループは、中央センターで実施しているビデオやパソコンに関する講座を受講した人を中心に結成されている。

教育メディアを利用して作品を作ったり技能を高め合ったりして、創作・文化活動をするグループであり、美しい自然や優れた伝統芸能などを映像化して地域の公共施設（公民館等）や学校等に情報提供し、地域社会に貢献している。

また、各地域での作品発表やコンクールへの応募、中央センターで行われる講座でのサポーターとして活動しながら、生きがいをづくりも目指している。

ふれあいメディアフェスティバルでは、各自主グループの作品発表に加えて、霧島ビデオクラブの作品鑑賞、県自作視聴覚教材コンクール動画部門最優秀作品の紹介、(有)YBMフロンティアの山下氏とNHK鹿児島放送局の林氏による発表作品の講評と講話等を行い、63人の参加があった。

自主グループ発表作品一覧

グループ名	作品名
フレッシュ薩摩	蟻の花尾詣で
	奇祭 ～男達が守る十五夜～
	127年の歴史と子供達の1年
	豪雨と西之谷ダム
リンクさんあい	お茶の出来るまで
	届かぬ 叫び!
	豊臣軍と島津軍の戦い
	蓮 ～その知られざる魅力～
	薩摩切子の出来るまで
すみれ	かかし祭りと水口ユキエの用水路
	寺山自然遊歩道散策
デジタルアートさくら	マウスアート～図形で～
いちごちゃん	実務編 ～パートI～

イ 期日

平成31年 1月19日 (土)

ウ 時間

13:00～16:40

エ 場所

交流センター西棟2階中ホール

オ 発表内容

(ア) 自主グループ作品

a ビデオ関係 (全11作品)

- ・ リンクさんあい 6作品
- ・ フレッシュ薩摩 4作品
- ・ すみれ 1作品

b パソコン関係 (全2作品)

- ・ デジタルアートさくら 1作品
- ・ いちごちゃん 1作品

(イ) 地域で活動している自主グループ

霧島ビデオクラブ 1作品

作品名「町育む・天降川」

(ウ) 平成30年度県自作視聴覚教材コンクール (一般動画の部)

九映会 1作品

作品名：夢をはこぶ人々 「～麗しき第二の人生～」 (最優秀賞)

カ 講評及び講話

パソコン関係 有限会社YBMフロンティア取締役社長 山下 圭三 氏

ビデオ関係 NHK鹿児島放送局映像編集副部長 林 秀一 氏

(3) 人材育成講座修了者による「ふるさとリーダー交流会」

ア 趣 旨

地域リーダーとして、講座受講後の活動等の成果を自ら検証し、効果的な活動を発展的に深めるとともに、地域リーダー同士の交流を深めるなど、より一層自らの力で生涯学習を推進する人材を育成する。

イ 日 時

平成31年2月16日(土) 13:00～16:50

ウ 会 場

県民交流センター

エ 参加者

中央センター主催人材育成講座修了者
ふるさとおこしに興味・関心のある方

計17人

オ 内 容

プログラム	内 容 等
1 開会式・オリエンテーション	<input type="checkbox"/> 開会の言葉及び日程説明等について
2 全体会（事例発表・意見交換）	<input type="checkbox"/> 実践事例発表 ○ 原口 學氏（H25 基礎講座受講者） ・48回続いている校区ソフトボール大会の企画と運営の工夫 ○ 池上 優子氏（H25 基礎講座受講者） ・残していきたいかごつま弁協会の取組 ○ 東原 辰巳氏（H30 基礎講座受講者） ・青少年が活躍する場の創設（入来小学校ジュニア歴史ガイドの育成をとおして）
3 グループ協議（ワールド・カフェ）	<input type="checkbox"/> テーマ 「活動をして、〇〇したらうまくいきました。」 ・4～5人によるグループ協議
4 講評	<input type="checkbox"/> 交流会全体をとおしての講評 鹿児島大学法文学部 金子 満 准教授
5 閉会式	<input type="checkbox"/> 閉会の言葉及び連絡事項等について

カ 参加者の感想

- 3人の取組、熱心な取組に頭が下がる思いです。それぞれの考えに向かって取り組んでいらっしゃる姿に感動した。
- グループ協議では、いろいろな視点や感性の話を紙に落としたり、発表・表現したりすることで、様々なアイデアがみえてきた。面白かった。
- 人に話す、伝える、楽しいワールドカフェタイムだった。
- 思いを続けていることや考えていることを生かせる場ができて凄く良かった。



【事例発表】



【グループ協議】

2 指導者・講師情報の提供

(1) 目的

県民の文化、学習及びスポーツ活動などの支援と学習成果を生かすために、生涯学習活動に関する指導者・講師及びボランティア等の情報を収集し、中央センターホームページで提供することで県民の生涯学習活動の促進及び発展を図る。

(2) 指導者・講師情報の登録者

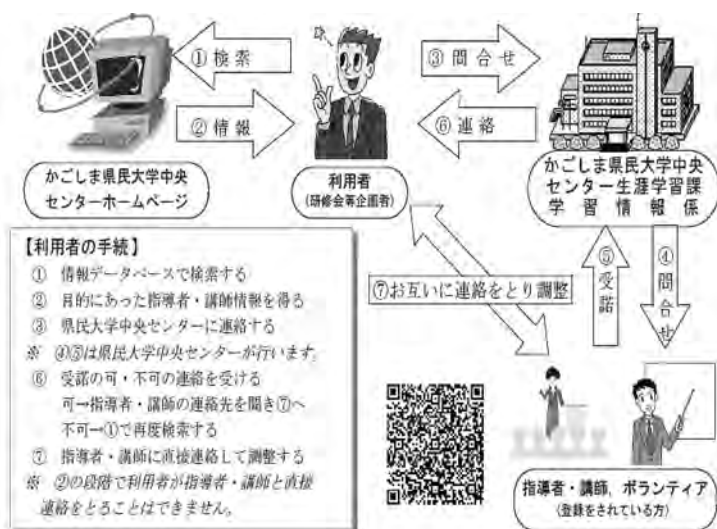
社会教育・社会体育有志指導者、公民館講座等の指導者・講師及び特技・趣味を生かした教室やボランティアなどを行っている人が対象で、平成31年3月31日現在の登録者は1,353人である。

情報分類別登録人数は下表のとおり(実人数と延べ人数の差は、複数分類への登録者による)。

分類	人数	分類	人数	分類	人数
生涯学習	772	文学・文芸	40	スポーツ・レクリエーション	156
美術・工芸	74	生活・趣味	166	情報技術	405
歴史・民俗	130	ボランティア・NPO	94	男女共同参画	78
書道	25	青少年・成人・高齢者教育	92	保健福祉	21
舞踊・演芸	68	産業・政治・経済	19	その他	12
音楽	61	自然・社会科学	76	計(延べ人数)	2,382
語学	57	国際交流	36		
					実人数 1,353人

(3) 指導者・講師情報の利用方法

- 中央センターのホームページから「指導者・講師情報」をクリックしてシステムに入る。
- 実施する研修会等に関するキーワードを入力すれば、広く県内全域から指導者や講師、ボランティアを検索できる。
- 学校教育活動やPTA活動、市町村教育委員会や生涯学習諸団体、地域公民館活動等で実施する研修会、体験活動等に登録された人材を活用できる。



(4) 指導者・講師情報の活用事例

指導者・講師情報に登録された方を活用した研修会等の事例を収集し、ホームページで紹介をしている。学校、社会教育関係団体、教育委員会等での多様な研修会例を参考にすることができる。

事例提供団体	鹿児島市立学習情報センター			
学習会名	「教育の情報化」研修			
ねらい	教育メディアに関する初歩的な知識や技術を修得し、教育活動において効果的に利用できるようにする。			
指導者・講師情報	氏名	山田 良子 外2人	所属等	九映会
	検索キーワード等	① ビデオ撮影		
	指導・講話内容等	1 日 時 平成30年8月7日(火) 27日(月) 2 対象者 小・中・高等学校初任者 3 内容 (1) ビデオ教材の特性と教育的機能 (2) ビデオ撮影の基本・カメラワークについて (3) 番組づくりについて		
	成果や課題	○ 動画制作に係る時間は約1日と短い時間ではあったが、各教科等で使える教材を作り上げ、参加者は大変喜んでいった。 ○ 最後に完成した作品は視聴会を行い、互いに評価し合い充実した研修となった。 ● ビデオ撮影の基本から台本作り、教材完成までを約1日で行うには活動内容が多いので、研修日数を検討する必要がある。		

3 その他の情報提供

(1) 生涯学習情報コーナー

このコーナーは、中央センターの主催事業や県内の各種活動をしている個人や団体等の講座情報及び県・市町村等の広報紙による情報提供の場として設置している。



＜2階生涯学習情報コーナー＞



＜6階情報サロンを活用した情報の提供＞



(2) 生涯学習だより

ア 目的

近年のスマートフォンやタブレット端末などの各種情報機器の普及に対応し、タイムリーな情報の発信ができるよう、平成27年5月にホームページを一新するとともに、「生涯学習だより」を創刊した。今後とも、生涯学習の中核施設として、生涯学習に関する情報提供の充実を図っていく。

イ 発行期日

年6回配信する。(平成27年7月に第1号創刊)

ウ 様式

A4で2ページ程度のカラーデータを作成

エ 配布方法

メールによる配信、紙媒体にて送付、館内掲示、ホームページ掲載

オ 配布先

市町村、県教育庁各課・出先機関・教育機関

カ その他の運用について

内容は随時検討、見直しを加えていくこととする。

キ 掲載例

平成30年度10月号



(3) 視聴覚ライブラリー

ア 概要

- 視聴覚ライブラリーは、映像教材を活用し、より分かりやすく具体的な学習や研修を行うための支援をしている。
- 貸出権・上映権付きの DVD・ビデオ・16 ミリフィルム等映像教材を、営利を目的としないこと等を条件に、学校教育・社会教育等の関係機関・団体に、貸し出している。



県視聴覚ライブラリー
(県民交流センター西棟 5 階)

[参考] (著作権法第 38 条から)

市販やレンタルされている DVD 等は、個人・家族での視聴に限られている。授業の目的達成のためであれば、その一部を授業中に視聴させることができる場合もあるが、「学校教育だから」「料金を徴収していないから」ということで、行事や遠足等が雨で予定変更になった際に、市販の DVD 等で 映画会を開催するなどということとはできない。

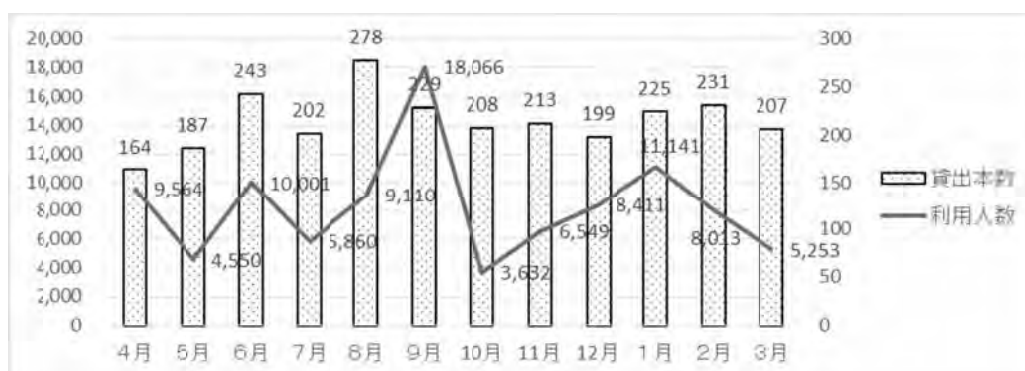
県視聴覚ライブラリー所有教材数 (平成 31 年 3 月末現在)

メディア種別	所有本数	メディア種別	所有本数
ビデオ・DVD	2,831 本	16 ミリフィルム	1,326 本

今年度は、次のとおり選定委員会を実施し、新規教材を購入した。(すべて DVD 教材)

実施日	委員会名	出席者数	購入教材数
10 月 5 日 (金)	教材選定委員会	9 人	26 本

イ 平成 30 年度の視聴覚教材利用状況(平成 31 年 3 月末時点の集計)



※ 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月合計／教材貸出本数 2,586 本、教材利用人数 100,150 人

ウ 映像教材の提供

中央センターホームページ上に「最新映像教材一覧」と「よく利用される教材一覧(ジャンルごと)」を掲載している。近年購入した映像教材については、パッケージの画像とともに主な内容や活用ジャンル等を記載している。

また、『映像教材活用事例』(PDF)には、収集した活用事例を掲載している。

(4) ホームページによる情報提供

ア 目的

県民の適切な学習機会の選択と自主的な学習活動の取組をサポートするため、交流センターの情報システムを通じて、生涯学習や男女共同参画など交流センターの各機能に関する情報とともに県下全域の指導者・講師、視聴覚ライブラリー情報をデータベース化し、インターネットを通じて県民に提供する。

イ ホームページの内容項目

(ア) メインメニュー

「講座・研修」「学びの手帳」「講師・教材」「展示」「相談」「刊行物」「関係機関」の7つのメニューがあり、様々な情報を得ることができる。

(イ) サブメニュー

メインメニューにマウスオーバーすると下記のようなサブメニューが表示される。

メインメニュー	サブメニュー
講座・研修	講座案内、ふるさとリーダー交流会、生涯学習県民大学講座、かごしま県民大学連携講座、メディア研修講座、来所研修、かごしま青年塾、ふるさとおこしリーダー育成講座
学びの手帳	学びの手帳
講師・教材	指導者・講師情報→検索、利用の仕方、活用事例 視聴覚ライブラリー→鹿児島県視聴覚ライブラリーの利用の仕方、活用事例、最新の映像教材一覧、よく利用されている映像一覧、かごしま映像百科デジタルコンテンツ
展示	生涯学習ふれあい展示、教育メディア自主グループ
相談	生涯学習に関する相談窓口
刊行物	要覧、リーフレット、かごしまの生涯学習、生涯学習だより、生涯学習関連事業調査
関係機関	市町村の生涯学習、各機関へのリンク 鹿児島県視聴覚教育連盟→県視連だより、自作視聴覚教材コンクール、自作視聴覚教材コンクール審査結果

ウ 図書視聴覚資料検索

県視聴覚ライブラリーが保有している視聴覚教材を本システムから検索して貸出状況を確認することができる。



IV 調査・研究

1 主催講座等の修了者の受講後の活動状況

(1) 「平成29年度ふるさとリーダー育成講座」修了者の受講後における活動状況

ア 調査総括(平成30年6月時)

(ア) 調査状況

修了者数	33
調査対象者数	33
回答者数	32
回答率	97.0%

(イ) 講座修了後の活動状況

	人数	割合
講座修了後に活動した	28	87.5%
活動していない	4	12.5%
計	32	100.0%

(ウ) リーダー活動の状況(現在、活動中の28人について)

	人数	割合
生涯学習の推進的立場(リーダー等)として活動	21	75.0%
生涯学習を受動的立場として活動	7	25.0%

イ 活動例

(ア) 個人として活動した事例

No.	団体の名称	主な活動内容	主な活動場所
1	草道上自治会 (サロン) ほか	校区文化祭で案山子の展示を行った。溝辺、山田の案山子の見学、今後は展示予定。	草道自治会 サロン(薩摩川内市)
2	記の向くMAMA	「あなたにやさしい心理学」という講座を開き、参加された方に日常役立つ心理学知識講座や話を聴く時間、お薦めの本の紹介などを行っている。	サンエールか ごしま(記の 向くMAMA)
3	e.lab~放課後 の学びの場~	地域を巻き込んだ探究学習プログラムの中で、地域貢献、ICT活用等、先端技術と自然環境を生かした学びの場を行っている。	田皆コミュニ ティーセン ター、沖泊海 浜公園(知名 町)外

(イ) 団体等の一員として活動した事例

No.	団体等の名称	主な活動内容	主な活動場所
1	水引探検隊IN月屋山	水引地区の再発見→フォトコンテスト→広く周知 ・「月屋山と周辺の発見と開発」「山頂からの『川内川あらし』のPR活動」「よそ者の漁眼、鳥眼の感性から進めている」などを行っている。	水引地区及び月屋山周辺
2	水引地区コミュニ ティ協議会	地区公民館代表1人を選出し、地区の観光化を図るためのマップづくり	地区コミュニティー (薩摩川内市)
3	平佐西地区コミュニ ティ協議会	地域のコミュニティ活動	平佐地区(薩摩川内市)
4	水引地区コミュニ ティ協議会防犯・防 災・交通部会	防犯・防災の夜回り活動	水引地区(薩摩川内市)
5	西郷どん券実行委員 会	助け合い、支え合い、学び合いのツール「西郷どん券」の普及、啓発、交流会の開催	谷山地区谷山サザン ホール(鹿児島市)
6	①水引地区コミュニ ティ協議会(水引探 検隊IN月屋山) ②浜田自治会	①月屋山頂上に展望台、願いの鐘を設置。登山道入口月屋山PR看板設置。登山道整備。元日の初日の出登山(登山者に甘酒の振る舞い) ②夏祭りの開催	①月屋山・山道 ②ちびっ子広場(薩摩川内市)
7	Team阿久根華女	阿久根華の女子大学を開催した。全6回講座。成果として「あくねおもち帖」を受講生とともに作成配布した。	阿久根駅(阿久根市)

No.	団体等の名称	主な活動内容	主な活動場所
8	水引校区コミュニティ協議会	地域おこしのための校区マップづくり	水引小校区 (薩摩川内市)
9	黒木よかところ隊	黒木地区の案内板設置, マップ作り	黒木地区 (薩摩川内市)
10	①自治会及び建設業組合 ②長島島援隊	①花壇づくり ②古墳まつりを通した地域の歴史の勉強会 (台風のため2年間中止)	長島町内
11	祁答院地区コミュニティ協議会	地域コミュニティでイメージロゴキャラクターの制作, キャラクター看板・のぼり旗の設置	祁答院地区 (薩摩川内市)
12	薩摩川内市ダイバーシティ	パープルリボン運動及び地域活性化支援活動	薩摩川内市内
13	阿久根ガイド	阿久根市の観光アピール (ボランティア)	阿久根市内
14	平川校区夏まつり実行委員会 (平川校区まちづくり協議会)	平川校区まちづくり協議会の年間行事の一つとして, 第13回平川校区夏まつりを実行委員長として開催した。	平川校区公民館, 平川小学校 (鹿児島市)
15	あいご会	「立志のつどい」など	西伊敷小校区 (鹿児島市)
16	あいご会自治会	あいご会や公民館の活動 9月に遠行を計画	武小校区 (鹿児島市)
17	町内会に楽しく参加できるような町づくり	高齢者引きこもり対策, 新行事の構築, 自主防災訓練, 子ども・高齢者見守り活動など	町内会 (鹿児島市)
18	鹿児島市コンベンション協会	鹿児島市まち歩きガイド	鹿児島市内
19	喜美留学	倉憤怒ゴルフ大会を実施し, 親睦を図る。大会後, 慰労会, 合同歳の祝いを字民で実施	笠石公園 公民館 (和泊町)
20	みーやプロジェクト	空き家となった古民家と休耕地を改修して, 地域内の交流を促進し, 子ども達の環境学習や体験学習をする多目的スペースとして活用していく。	根折字古民家 (和泊町)
21	交通安全教室	大城小校区内 (5字) の子供, 高齢者を対象に大城字主催の交通安全教室を開催し, 交通事故から身の安全を守る知識を取得する。	大城小学校 (和泊町)
22	黒糖づくり・田植え	地域, PTAと協働で子供たちの黒糖づくり支援や田植えの実践	大城小学校 (和泊町)
23	知名字	町の中心で移住者が多く, まとまりが薄い集落のため, 「まずは知名字のことを知ってもらおう」と知名字パンフレット「知名暮らし」を制作	知名字内 (知名町)
24	家庭教育支援員	家庭教育の充実に関わる講演会の実施等	町内会 (知名町)
25	町教委社会教育課	社会教育関連事業全般	町内 (和泊町)

(2) メディア関係の講座受講者等の活動例

ア メディア研修講座

No.	氏名(敬称略)	受講した講座	講座を生かした作品制作及び実践
1	百枝 重憲	ビデオ編集の基礎知識 ～お正月を撮ろう～	今回受講した講座は編集に重点を置いた講座だった。動画作品において、ビデオ等による撮影は大事であると思うが、それ以上に編集によって作品の内容が大きく変わることを実感した。編集は、以前から自分の弱い部分だったので、この講座を受講して編集のポイントを学ぶことができ、それを生かしてビデオ作品を作成することができたので、今後も作品づくりを楽しみながら、更に色々な技法をマスターしていきたい。
2	鹿屋市立 細山田小学校 福倉 遵	プログラミング研修講座②	「実際に多くの体験ができ、よい学びになった。」講座を受けた印象である。 8月に校内研修で還元した。Society5.0の内容理解、アンプラグドプログラミングやロボットに正三角形を描かせるプログラミングを体験し、感想交流を行った。「抱いていた不安が大分解消された。」という職員の感想があり、有意義な研修となった。
3	霧島市メディアセンター 時任 志郎	タブレット・スマホで情報発信 ～地域素材を生かす～	SNSを実際に仕事として活用している方の具体的な話を聞くことができ、とても勉強になった。情報モラル教室や各種研修会等で、SNSの特徴や写真を撮影する際の注意点、個人情報の取り扱い等について、さまざまな事例をふまえつつ、より具体的な話ができるようになった。今後もさまざまな場面で還元していきたい。

イ 県自作視聴覚教材コンクール

	氏名(敬称略)	応募部門	制作活動当たりの感想
1	九映会 山田 良子	鹿児島県自作視聴覚教材コンクール(動画部門一般の部) 最優秀賞	この賞を頂けたのは、作品制作に携わって下さった方々の御協力の賜と感謝している。高齢化社会になった現在、第一線を退かれた方々は第二の人生をどのように過ごされているかを辿ってみた。病と闘いながら様々なボランティア活動をなさっている方を中心に制作した。作品を御覧になって現在病と闘っておられる方や高齢の方が少しでも生きる力や喜びを感じていただければ嬉しく思う。

(3) 「来所研修」利用の自主グループの活動例

No.	サークル名 (活動内容) 代表者(敬称略)	具体的な内容 (結成のきっかけとなった講座)
1	リンクさんあい (ビデオ作品制作) 増田 勇	毎月第1金曜日に定例会を開催し、各自で制作した映像作品の相互鑑賞等を通して、技術や知識の向上を図っています。また、地域の様々な行事等を映像作品としてまとめ、コンクールへの出品や各種団体への寄贈も行っています。今後も、地域活動・自然・伝統行事の記録に積極的に参加し、楽しく、多くの映像作品を制作したいと考えています。 (H15年度デジタルビデオ撮影・編集講座)
2	フレッシュ薩摩 (ビデオ作品制作) 松田 宏視	毎月第2・4木曜日に定期的に集まり、ビデオ撮影や編集を通して、会員同士で技術や知識の向上を目指しております。美しい自然や伝統芸能などを作品にまとめ、コンクールなどへ出品や、地域の行事に参加して作成した作品を寄贈しております。 会員も16人になり、講座のサポート、またボランティア活動などを通して、生き甲斐づくりと社会への貢献を目指したいと考えております。 (H20年度デジタルビデオ撮影・編集講座)
3	すみれ (ビデオ作品制作) 遠矢 洋子	グループを立ち上げて12年目になる「すみれ」です。初めは6人でスタートした自主グループでした。現在は4人という少人数で活動していますが、一歩進んで二歩下がりがりながら今日まで自主活動を行ってきました。好きだから、仲間が良いから毎年行われる作品発表の場であるふれあいメディアフェスティバルにも参加し、作品を出展してきました。 今後も高望みせずコツコツとビデオ作品を作っていこうと思います。また、今までビデオ制作で培った技量を生かして、地域のお役にも立ちたいと考えております。 (H20年度デジタルビデオ撮影・編集講座)
4	デジタルアートさくら (ワード・パワーポイントの図形による作品の制作) 石兼 美枝子	月1回の活動と少ないですが、技術を教え合いながら各自持ち帰り、作品を仕上げていきます。ワード、パワーポイントの図形を使って楽しく作品を制作しています。 デジタルアートの新しい感覚の面白さや知識・技術を学びたいということでグループを結成しました。ワードやエクセル、デジカメ講座のサポーターとしても手伝いをしています。また、2階の生涯学習コーナーで作品を展示しています。 (H20年度デジタルアート講座)
5	いちごちゃん (ワード・エクセル・パワーポイントによる作品の制作) 池増 美恵子	平成23年12月に講座サポーターのスキルアップのために活動を始めたグループです。現在はワード、エクセル、パワーポイント、インターネット、画像編集など各自のスキルアップを目指し活動しています。パワーポイントによる作品制作発表を通して、更に知識や技術を高め、個々の資質向上を目的として活動しています。 (H20年度 中級講座)

2 県内の生涯学習推進状況調査

(1) 調査の概要

ア 目的

生涯学習に関する県内の推進状況を調査することにより、事業の運営に生かすととともに、生涯学習環境の充実を図る。

イ 調査の時期

平成30年2月～4月

(2) 調査結果

ア 大学・短大・民間教育機関・企業・団体等の平成29年度(社会人受入状況は30年度)の事業数

	講座等開設機関等	講座数	計	受講者数	計	社会人の受入状況(H30年度)	
						H30特別試験等 入学者数	H30年度 聴講・研究生等受 入者数
1	大学・短大等 の公開講座	鹿児島大学	51		2,476	0	323
		鹿屋体育大学	16		579	1	1
		鹿児島国際大学	5		881	12	13
		第一工業大学	20		245	0	0
		志学館大学	5		272	0	8
		鹿児島純心女子大学	9		441	2	37
		鹿児島県立短期大学	1	164	202	1	4
		第一幼児教育短期大学	4		25	1	1
		鹿児島女子短期大学	4		506	13	2
		鹿児島純心女子短期大学	20		648	2	1
		放送大学鹿児島学習センター	10		450	1,104	382
		鹿児島工業高等専門学校	19		479	0	0
2	高等学校 (県立・市立・私立)	県立学校	6	30	1,153	1,418	
		市立学校	0	0	0		
		私立学校	5	5	265		
3	各種学校・専修学校 (開放講座)	公立専修・各種学校等	3	11	445	1,415	
		私立専修学校等	7	16	970		
4	企業・団体 (講演) (講習会)	鹿児島県経営者協会	24		1,646	9,230	
		鹿児島県商工会議所連合会	32	247	2,864		
		鹿児島県商工会連合会	191		4,720		
5	民間教育 機関	JEUGIAカルチャーセンターイオンモール鹿児島	120		550	25,983	
		南日本放送MBC学園	285		1,600		
		南日本新聞開発センター文化教室みんカル	345	1,086	2,065		
		南日本リビング新聞社リビングカルチャー倶楽部	270		7,500		
		山形屋文化教室	66		14,268		

イ 県機関の生涯学習関連事業数

実施部署	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(計画)
知事局	36	36	36	34	35	32	31
総務部	5	5	4	5	5	5	5
企画部							5
PR・観光戦略部*							5
環境林務部	15	15	15	14	13	10	10
暮らし保健福祉部*	15	14	14	14	14	14	14
商工労働水産部	9	9	9	8	7	7	2
農政部	7	7	7	7	7	8	6
警察本部	5	5	4	4	4	4	4
教育委員会	112	117	117	133	137	149	151
合計	204	208	206	219	222	229	228

※ 県庁機構改革により平成30年度から「PR・観光戦略部」が新たに設置された。また「保健福祉部」が「暮らし保健福祉部」に再編された。

ウ 市町村における平成30年度の連携事業(当初予定)

①	大学・短期大学・高等専門学校と連携して開設する生涯学習事業	8市	2町	0村	15件
②	専修学校・各種学校と連携して開設する生涯学習事業	1市	0町	0村	1件
③	保・幼・小中高と連携して開設する生涯学習事業	11市	11町	2村	48件
④	企業等と連携して開設する生涯学習事業	8市	2町	3村	27件
⑤	民間教育機関(カルチャーセンター等)と連携して開設する生涯学習事業	1市	0町	0村	2件
⑥	民間団体(NPO等)と連携して開設する生涯学習事業	15市	7町	0村	43件
⑦	他市町村と連携して開設する生涯学習事業	9市	10町	2村	29件

3 学習ニーズ調査について

(1) 調査の目的

平成30年度生涯学習県民大学講座参加者を対象に「今後受講したい講座テーマ」について調査をし、今後の本県における生涯学習を推進するための基礎資料とする。

(2) 調査の概要

ア 対象

- (ア) 生涯学習県民大学講座の受講者
- (イ) 会場（県内10会場 26講座）
いちき串木野市 指宿市 出水市 霧島市 鹿屋市 南大隅町
屋久島町 伊仙町 知名町 かがしま県民交流センター

イ 調査方法

アンケートによる選択回答（複数回答）

【質問】 今後、受講したい講座テーマの番号を○で囲んでください。							
1 防災	2 地域活性	3 産業	4 環境				
5 教育・育児	6 医療・健康	7 介護・援助	8 その他				

ウ 調査期間

平成30年5月～平成31年2月

(3) 調査結果

ア 地区別の回収状況

地区	実施市町・会場	講座数	受講者数(人)	回答者数(人)	回収率(%)
鹿児島	いちき串木野市	2	154	125	81.2
南薩	指宿市	2	75	36	48.0
北薩	出水市	2	57	53	93.0
始良・伊佐	霧島市	2	106	92	86.8
大隅	鹿屋市	2	624	400	64.1
	南大隅町	2	129	105	81.4
熊毛	屋久島町	2	80	41	51.3
大島	伊仙町	2	61	53	86.9
	知名町	2	52	44	84.6
かがしま県民交流センター		8	207	195	94.2
合計	10	26	1,545	1,144	74.0

イ テーマ別・年代別の受講希望講座の状況(人・複数回答)

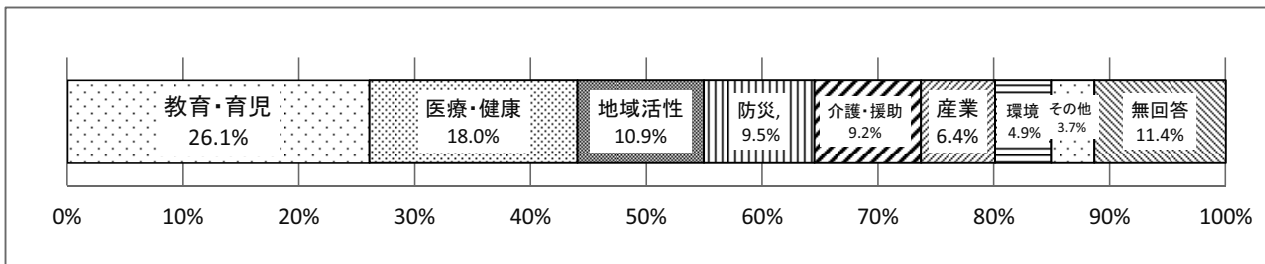
テーマ	年代	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	不明	合計
防災		0	1	34	64	34	20	28	3	0	184
地域活性		1	2	27	59	44	36	34	7	0	210
産業		0	2	18	27	20	30	24	2	0	123
環境		0	0	12	21	18	23	17	3	0	94
教育・育児		1	18	187	183	73	23	17	1	0	503
医療・健康		0	8	66	121	54	39	48	10	0	346
介護・援助		8	2	25	60	35	15	28	4	0	177
*その他		1	0	19	22	11	7	10	1	0	71
無回答		1	3	65	56	30	16	37	10	1	219
合計(延べ)		12	36	453	613	319	209	243	41	1	1,927
回答者		12	33	271	365	187	112	137	27	0	1,144

※ 「その他」の主な回答

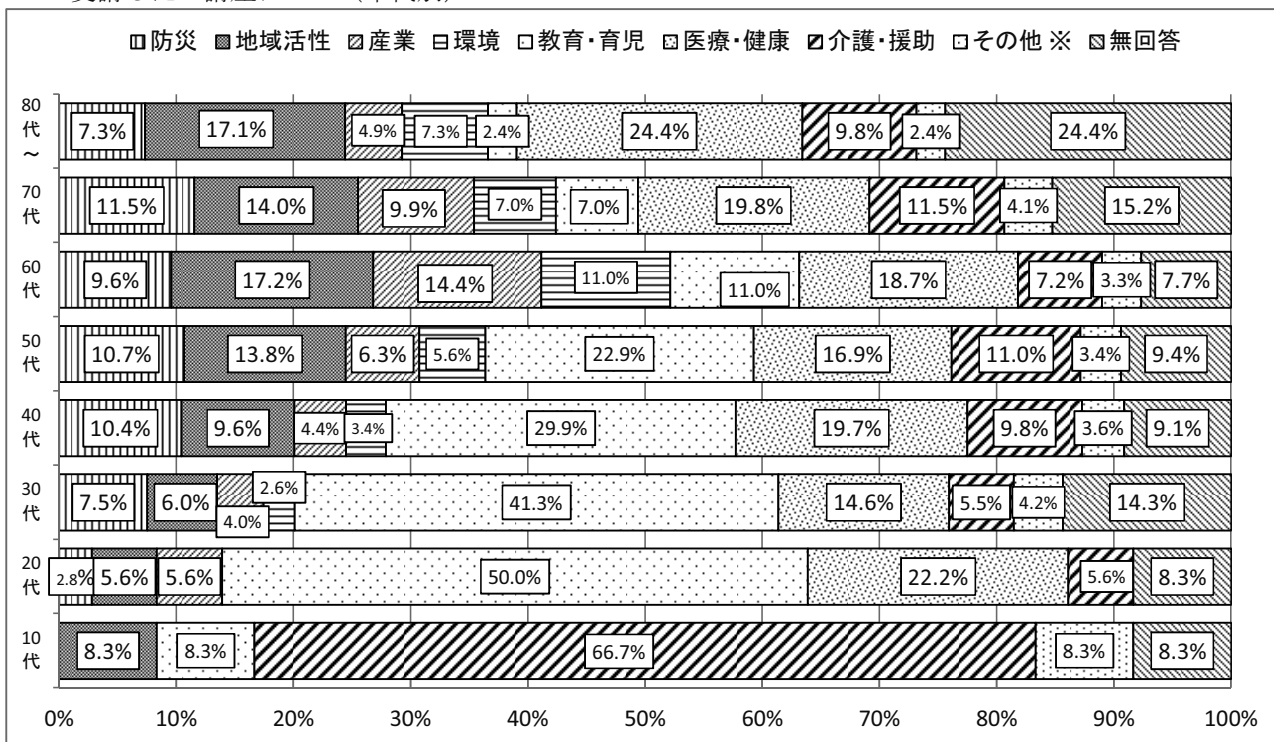
- ・ 特別支援教育、発達障害・視覚障害等について
- ・ 子供に多い疾患について
- ・ 避難所生活のあり方について
- ・ 高齢化社会におけるAI利用と、若者の労働負担の減らし方等について
- ・ プログラミング教育の最新情報について
- ・ 若年層が減少する中での介護のあり方について
- ・ 老老介護の進展に伴う、地域とのかかわり方等について
- ・ 終末期医療について
- ・ メンタルヘルスについて
- ・ 県民が知らない本県の情報について
- ・ 鹿児島の地域（町名）、苗字の由来について

ウ 受講したい講座テーマ（全体：1,927人）

※複数回答



エ 受講したい講座テーマ（年代別）



- ・ 受講したい講座テーマの全体では、アンケート回答者の多くが「教育・育児」をテーマとした講座参加者であることから、今後、受講したい講座の希望も「教育・育児」が最多となった。年代別でも20代から50代の子育て世代が「教育・育児」が多い。
- ・ 「医療・健康」は年代に関係なく希望が多く、「地域活性」, 「介護・援助」は40代以上で多くなっている。
- ・ 「防災」については、30代以上で7～10%程度の希望がある。
- ・ 10代は、回答数が少ないため、他の年代と単純に比較はできないが、「介護・援助」に関心がある回答が寄せられた。

V 「かごしま県民大学『学びの手帳』」推進事業

1 概要

(1) 趣旨

生きがいや心の豊かさを求めて、いつでも、どこでも、だれでも、希望する内容と方法で、気軽に学べるようなシステムづくりが必要になっている。

このため、県や市町村等の主催する生涯学習講座の学習機会を県民へ効果的に提供するとともに、その学習者が個々の学習歴を確認したり、学習成果を幅広く生かしたりしていくことを目的とする。

(2) 概要

中央センターが中心となり、県民の生涯にわたる学習活動を支援し、より学びやすい環境を整備するため、県・市町村・大学等教育機関などと連携して、講座、研修などを提供し県民の学びを応援するため、講座案内や学習履歴を記録する手帳を作成し、希望者へ発行する。

ア 「学びの手帳」とは

「学びの手帳」は、講座などを受講された際に、その学びの足跡を自分自身で記録していくためのものである。学習成果の記録の積み重ねを確認することで、皆様の学びの励みにしていただきたい。

県、市町村、大学等教育機関など様々な機関等で行われる講座などを受講した方には、単位ごとに奨励賞（賞状）を授与する。

イ 『学びの手帳』の申込方法

「学びの手帳」は、県民の方ならだれでも申し込むことができる。（無料）

手続は、申請書（1枚）を提出するだけで、いつでも希望する方に「学びの手帳」を送付する。

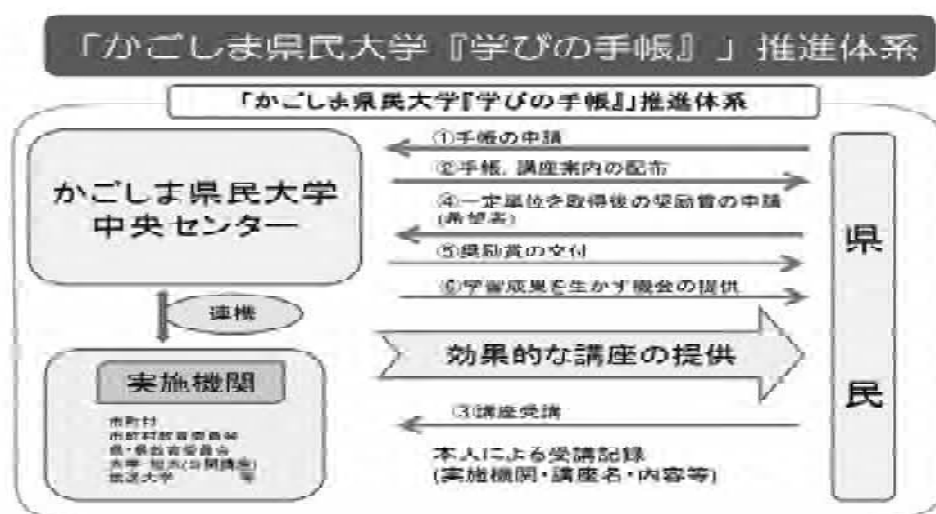
ウ 講座案内

県や市町村等の主催する生涯学習講座情報などを、中央センターの「講座案内」や「ホームページ」で紹介する。

(3) 主催

かごしま県民大学中央センター

2 事業体系図



VI かがしま青年塾（明治維新 150 周年関連事業）

1 目的

明治維新 150 周年を契機に、今後、様々な分野において地域社会をリードする人材を育成するため、本県の教育的風土や伝統を生かした「かがしま青年塾」を将来の鹿児島を担う青年層を対象に実施する。

2 主催

鹿児島県教育委員会

3 対象者及び定員

大学生、社会人（概ね 18 歳～25 歳程度）で、原則毎回参加できる県内在住の人 50 人程度

4 期日及び会場

平成 30 年 6 月～平成 31 年 2 月（月 1 回程度原則日曜日に実施）
交流センター、大隅青少年自然の家 ほか

5 プログラム

現地研修、宿泊研修、講演、交流会、個人研究、意見発表 等

6 受講料

無料（但し、宿泊研修必要経費は実費負担）

7 プログラム

平成30年度「かがしま青年塾」講座カリキュラム

※ コーディネーター 馬渡 一紀 氏(共創経営パートナーズ合同会社)

	開催日時・会場	講座内容等	講師・コーディネーター等
1・2	開講式 講演① 6月17日(日) 9:00～16:00 県庁6階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ■知事あいさつ ■基調講演 ■明治維新に関する講話 ■全体プログラム概要説明 ■個人研究概要説明 ■県外講師による講演 ■グループワーク 	基調講演 講師 島津 公保 氏 (鹿児島県教育委員会教育委員、 株式会社島津興業取締役 相談役) 明治維新に関する講話 講師 吉満 庄司 氏 (かがしまPR課明治維新150周年推進室専門員) 講演① 講師 久保 哲也 氏 (SMBC日興証券株式会社代表取締役会長)
3	現地研修 7月21日(土) 10:00～16:30 大隅地区	<ul style="list-style-type: none"> ■先進的取組を行っている県内企業等での研修 【Aコース】 ○ 株式会社吉川農園 ○ 農業生産法人株式会社オキス 【Bコース】 ○ グローバル・オーシャン・ワークス株式会社 ○ 大海酒造株式会社 	講師 吉川 和敏 氏 (株式会社吉川農園 代表取締役) 講師 岡本 孝志 氏 (農業生産法人株式会社オキス 代表取締役) 講師 増永 勇治 氏 (グローバル・オーシャン・ワークス株式会社 代表取締役社長) 講師 山下 正博 氏 (大海酒造株式会社 代表取締役)
4・5	宿泊研修 講演② 7月21日(日) 16:30～翌12:00 大隅青少年自然の家	<ul style="list-style-type: none"> ■親睦・交流活動 ■県内講師による講演 ■グループワーク (個人研究テーマ確認) 	講師 玉川 恵 氏 (城山観光株式会社 常務取締役)
6	講演③ 9月9日(日) 13:30～17:00 かがしま県民交流センター 大研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ■県外講師による講演 ■グループワーク (個人研究テーマについて) 	講師 鈴木 智行 氏 (日本アジアグループ株式会社専務執行役員CDO) (元ソニー株式会社 執行役員副社長)
7	交流会 10月14日(日) 13:30～17:00 かがしま県民交流センター 大研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ■県内の各分野で活躍する方々の講話 ■講師との交流、自由交歓 ■グループワーク (個人研究中間報告) 	講師 新原 光太郎 氏 (株式会社すすむ商店 代表取締役) 須部 貴之 氏 (有限会社すべ産業 営業部長) 水野 貴之 氏 (株式会社大阪屋製菓 代表取締役) 山下 賢太 氏 (東シナ海の小さな島ブランド社 代表取締役)
8・9	講演④ 講演⑤ 11月25日(日) 9:30～17:00 かがしま県民交流センター 大研修室1	<ul style="list-style-type: none"> ■県内外講師による講演 ■グループワーク(個人研究について) 	講師 片野坂 真哉 氏 (ANAホールディングス株式会社 代表取締役社長) 講師 宮原 隆和 氏 (株式会社エルム 代表取締役)
10	講演⑥ 12月16日(日) 13:30～17:00 かがしま県民交流センター 大研修室3	<ul style="list-style-type: none"> ■県内講師による講演 ■グループワーク (個人研究プレゼンテーション) 	講師 永山 在紀 氏 (南国殖産株式会社 代表取締役社長)
11	閉講式 2月17日(日) 13:30～16:00 県庁6階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ■塾生代表による意見発表 ■修了証書授与 ■塾長あいさつ 	

8 塾 生

54人（社会人21人 学生33人）

9 活動の様子



【開講式】



【現地研修】



【グループワーク】



【講演】



【交流会】



【意見発表会】

10 成果と課題、塾生の感想

(1) 意見発表シート（思いをカタチに！～ふるさと「鹿児島」への思いを生かすプロジェクトと私の挑戦～）の提出と発表会

- (2) 「『かごしま青年塾』を受講して」より
- ア 「印象に残ったリーダーの言葉」
- ・ 「経験が人間を強くする」
 - ・ 「企業とは新しい価値を創造するところ」
 - ・ 「自分の人生、自分で決めろ」
 - ・ 「なにもないことがチャンス」
 - ・ 「人間はA I と違って0を1にする」 など

イ 私の目指すリーダー像

- ・ 謙虚に学び続け、努力をする人
- ・ 覚悟をもって最初の一步を、先陣を切って行える人
- ・ リーダーの素質を持った人より、リーダーになる努力をする人
- ・ 謙虚で向上心があり、人との繋がりや出会いを大切にする人
- ・ チームの力を最大限に発揮できる人

ウ 塾生感想

- ・ 受講を通じて、自分自身の仕事や物事に対する姿勢が積極的になってきた。
- ・ モチベーションの向上はもちろんのこと、リーダーになるための考え方や必要な能力等、実生活に生かせることを多く学ばせていただいた。
- ・ 鹿児島への熱い思いがさらに向上した。
- ・ 職種は異なりますが強い思いをもった仲間とのつながりもできたことから、これからもこのつながりを大切に夢を語っていかれたらと思った。

思いをカタチに！ ～ふるさと「鹿児島」への思いを生かすプロジェクト～

プロジェクトのテーマ
全部見せます！かごしま焼酎
「しよちゆとあて」マップをつくらうプロジェクト

私の鹿児島への「思い」

福岡で育ち、東京へ進学した私が鹿児島焼酎メーカーに入社して最初に思ったのは、鹿児島ならではの酒文化、特に焼酎の蔵元は113にものぼり、県内のどんな小さな町にも焼酎蔵はあるといわれている。

過疎、少子化が進む鹿児島だが、それぞれの町で輝ける焼酎と特産品の良さ「しよちゆ（焼酎）とあて（つまみ）マップ」として一覧化し、各地域ひいては鹿児島全体の魅力を伝える活動への足がかりにしたい。

鹿児島への「思い」を、カタチにするプロジェクトの具体策

【県内各自治体の特産品と、その土地の焼酎を紹介する観光マップ作成】
「地域の焼酎やおいしい食べ物、知っていますか？」
各自治体と蔵元、特産品をつくる人々、学生や地域おこし協力隊を巻き込んで、新しいマップを作成する。
マップには蒸餾年代や前割り、さつま揚げ、黒豚、きびごねといった定番の楽しみ方とお茶割り、フルーツカクテル、あてとしてのスイーツなど新しい提案の両方を盛り込む。

それを基に
・パンフレットの作成 ・実演、体験イベント（芋掘りをはじめ作物の収穫、マルシェなど）
・観光客への魅力アピール（工場見学など元々ある資源の見直し）
といった形でプロジェクトに広がりを持たせてゆく。
道楽組合や各蔵元、各生産者や店舗、有志「焼酎マイスター」の活躍の場や高校生の地元愛を育む機会をつくる。

プロジェクトを実現するための私の挑戦！
（主体的に！積極的に！継続的に！取り組みたいこと）

私は現在、伊佐の焼酎メーカーで働いている。入社して5年、何か新しい提案ができないかと考える機会が増えた。鹿児島大学の焼酎マイスター養成講座を受講したこともあり、メーカーとしての立場、焼酎マイスターとしての立場と県外出身の境遇を生かして、焼酎を好きな人同士を繋ぐ役割を目指す。
まずは伊佐から一地域ぐるみで焼酎の楽しさとその土地の魅力を広めていけたらと思う。

【意見発表シート】

- 40 -

平成30年度かごしまの生涯学習

Ⅶ 「かごしま県民大学」推進協議会

1 趣旨

県下全域を生涯学習のキャンパスとする「かごしま県民大学」を推進するため、本県における生涯学習の現状と課題を把握するとともに、課題解決のための方策等を協議する。

2 開催日時

平成30年7月26日(木) 13:30～15:00

3 開催場所

交流センター 中研修室第2

4 委員(13人)

平成28年度改選(任期:平成28年7月1日～平成31年6月30日)

○印は、平成30年度推進協議会出席者(11人)

(1) 市町村関係者(2人)

- 吉松 健二(鹿児島市教育委員会生涯学習課長)
- 有村 孝(いちき串木野市教育委員会教育長)

(2) 大学関係者(3人)

- 岩橋 恵子(志学館大学法学部教授)
- 金子 満(鹿児島大学法文学部法経社会学科地域社会コース准教授)
- 住吉 文夫(放送大学鹿児島学習センター所長)

(3) 民間関係者(5人)

ア 民間教育機関代表

坂口 猛(南日本新聞開発センター文化教室みんなカル社長) ※ H30. 6月 辞任

イ NPO代表

○中野 恭子(NPO法人かごしま遺伝子活用普及協会理事長)

ウ 主催講座講師代表

○大谷 宏子(中央センター主催講座講師)

エ 主催講座受講者代表

- 小宮 智子(中央センター主催講座受講者)
- 池増美恵子(中央センター主催講座受講者)

(4) 県関係者(2人)

- 田島 悦子(県立青少年研修センター所長)
- 日野 知巳(県総務部県民生活局生活・文化課長) 代理 新垣 伸也

(5) 公募(1人)

○瀧川 憲洋(鹿児島市西伊敷校区あいご会会長)

5 議長(委員による互選)

田島 悦子 委員

6 協議のテーマ

「県立の生涯学習センターとしてこれからの時代の要請に対応するために『かごしま県民大学中央センター』が果たすべき役割について」

7 協議の項目

- (1) 指導者の養成・研修の充実と市町村支援は県の役割としてどうあればよいか
- (2) 学習成果の評価をどうすすめるか
- (3) その他

8 主な意見(抜粋)

(1) 指導者の養成・研修の充実と市町村支援は県の役割としてどうあればよいか

- 「教育は人なり」行政職員の資質向上はとても大切である。市町村にとって、地域づくり・人づくり・財政再建は大きな課題であるが、市町村によって差が出てくる。県として、どう育てるか、どのような手立てがあるのかを考える必要がある。県民大学中央センターの役割はそこにあるのではないか。指導者養成を中央センターの事業の中に組み入れて欲しい。
- 行政職員にはファシリテート・コーディネート力が求められる。職員が地域の課題を認識し、先をどこまで読んでいるか、また、職員間で共有できているかが重要である。職員養成の基本は、社会教育の本質を理解し前年踏襲ではない事業の企画と推進が必要である。どこの市町村の職員でも、研修が受けられるよう「つなぐ」ことが中央センターの役割ではないか。また、資質向上につながる情報の提供も研修の一つではないか。
- 社会教育士を養成する国の政策がはじまった。是非、鹿児島が先駆的に取組んでいきたい。時代の要請に対応できる人材の育成が大切であることから、県と大学が連携して市町村の課題が解決できるようなプログラムや情報提供が必要である。今後、市町村をまたいで協力し合う必要があることから、人材や情報を持つ県の役割は大きい。
- 中央センターでも、ふるさとおこしリーダー育成講座等の人材育成事業に取り組んでおり、充実・発展させたいと考えている。今後、更に大学等と連携を深め、調査研究やシステムづくりに取り組んで市町村に還元していきたい。
- 県でも市町村でも、これまで人材育成を行っている。しかし、地域によって課題は異なり、行政だけでも、地域だけでも、地域づくり・まちづくりは立ち行かない。どのようなネットワークを築き互いに連携して取組むかが大切である。その中に中央センターの役割もあるのではないか。
- 県内の市町村では、学校を核とした地域づくり、地域とともにある学校づくりの2点から「地域学校協働活動」が進められている。

(2) 学習成果の評価をどうすすめるか

- 高齢者が生き生きと学んでいただけるように心がけている。高齢の受講者が多いが、もっと若い（高校生など）方々にも受講してもらえたらいいと思う。講座実施については、人集めに苦労している。
- NPO法人は社会のニーズに合った講座を提供している。事業を作る際には出口からみて入口を作っているのが、効果がわかった上で事業を実施している。ターゲットやニーズをしっかりとつかんで効果ありきで講座を作っていく。講座修了者はボランティアとして活動する場合など、役立てる場所が最初からある。
- 地域の農家を助けたいというところからスタートしてマルシェを設立した。農家の立場で何ができるかを考えた。若者が農業をしたいと思ってもらえるようなまちづくりを目指している。身近で学べる場があれば鹿児島市まで行かなくても良いのでカフェを開設した。参加者が集い、講師が来てくれる場となっている。今後は、子育て中の方が学べる場を作りたい。
- どんな講座でも、学び終わった後、受講生自身がその後の活動をプログラムしてい

くような流れができること、自分たちの学びも深まると思うので、中央センターにはそのようなプログラム作りの調査や研究もお願いしたい。

- 成果とは、「やりたい、おもしろい、学びたい」と思う人がどれくらい広がっていくかということである。行政の役割は共に作っていく体制を創りあげて行くことであり、お膳立てより公共性という立場からバックアップすることが大切である。講座で学んだ人たちの組織化をし、市町村の中で活躍できるようなフォローアップシステムの構築、民間も協働できる仕組みが必要である。
- 今、学校応援団がとても盛んである。また、生涯学習で学んだ方々の協力をもらって「コミュニティースクール（地域の中の学校づくり）」をはじめている。今後ますます充実していくのではないかと考える。学校支援や家庭教育支援は生涯学習で学んだことを生かす場となる。

(3) その他

- ふるさとおこしリーダー育成講座で学んだ人が、市町村に登録し活動したり地域おこし協力隊員と連携するなど広がりを持った学びが必要ではないか。
- まちづくり・地域づくりに、地域に住む外国人も視野に入れて考えるべきではないか。

平成30年度 かごしまの生涯学習

(かごしま県民大学中央センター事業報告書15)

平成31年4月発行

編集・発行 鹿児島県教育庁 かごしま県民大学中央センター

住所 〒892-0816 鹿児島市山下町14-50(かごしま県民交流センター内)

生涯学習課 学習推進係 TEL 099-221-6604 FAX 099-221-6640

生涯学習課 学習情報係 TEL 099-221-6606 FAX 099-221-6642

E-mail kenmindaigaku@pref.kagoshima.lg.jp(共通)

ホームページアドレス http://www.kagoshima-pac.jp/functions/central_center-2-2/

